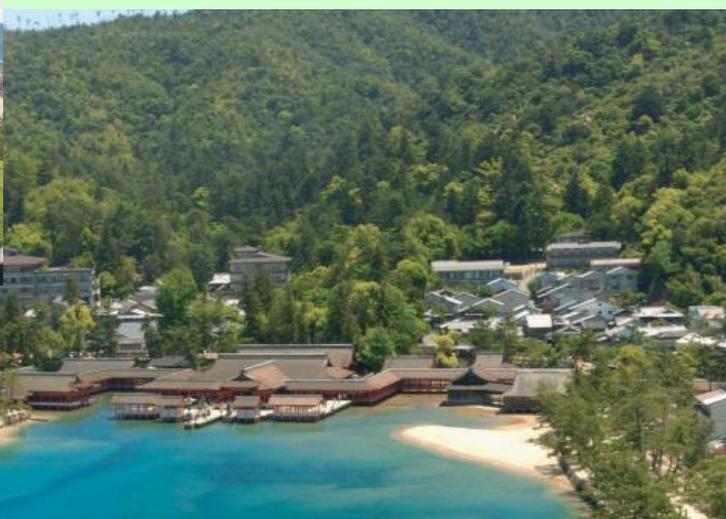


郷土ひろしまの歴史 I

～身近な地域の歴史を調べてみよう！～



広島県教育委員会
平成25年3月

◇ はじめに ◇

広島県には、世界文化遺産の厳島神社、原爆ドームをはじめ、ユネスコの無形文化遺産である壬生の花田植、国史跡の広島城跡や安芸国分寺跡などの文化財や各地域で受け継がれている伝統・文化が数多くあります。また、毛利元就、頼山陽、菅茶山、池田勇人など歴史上の著名な人物も数多く輩出しています。

広島県で学ぶ中学生のみなさんが、郷土広島の歴史や伝統・文化に対する理解を深め、これらを愛し尊重する心をもってもらいたいと思います。そのことが我が国の歴史や伝統・文化をより深く理解することにつながります。

また、我が国や郷土の歴史や伝統・文化は諸外国の歴史や伝統・文化とも深く関わっていることを理解し、諸外国の歴史や伝統・文化を尊重し、ともに歩いていける力を身に付けてもらいたいと思います。

「郷土ひろしまの歴史」は、2部構成となっており、広島県の歴史の中から、地域への関心や受け継がれてきた伝統・文化への関心を高めるとともに、身近な地域の歴史を調べるときに参考にすることができるように、各時代や地域のバランスを考慮して20テーマを設定しています。「郷土ひろしまの歴史Ⅰ」では、旧石器時代から江戸時代までの10テーマを取り上げています。

さあ、この教材を活用して、広島県の歴史について理解するとともに、身近な地域の歴史を調べるときの調べ方や学び方を身に付けていきましょう。

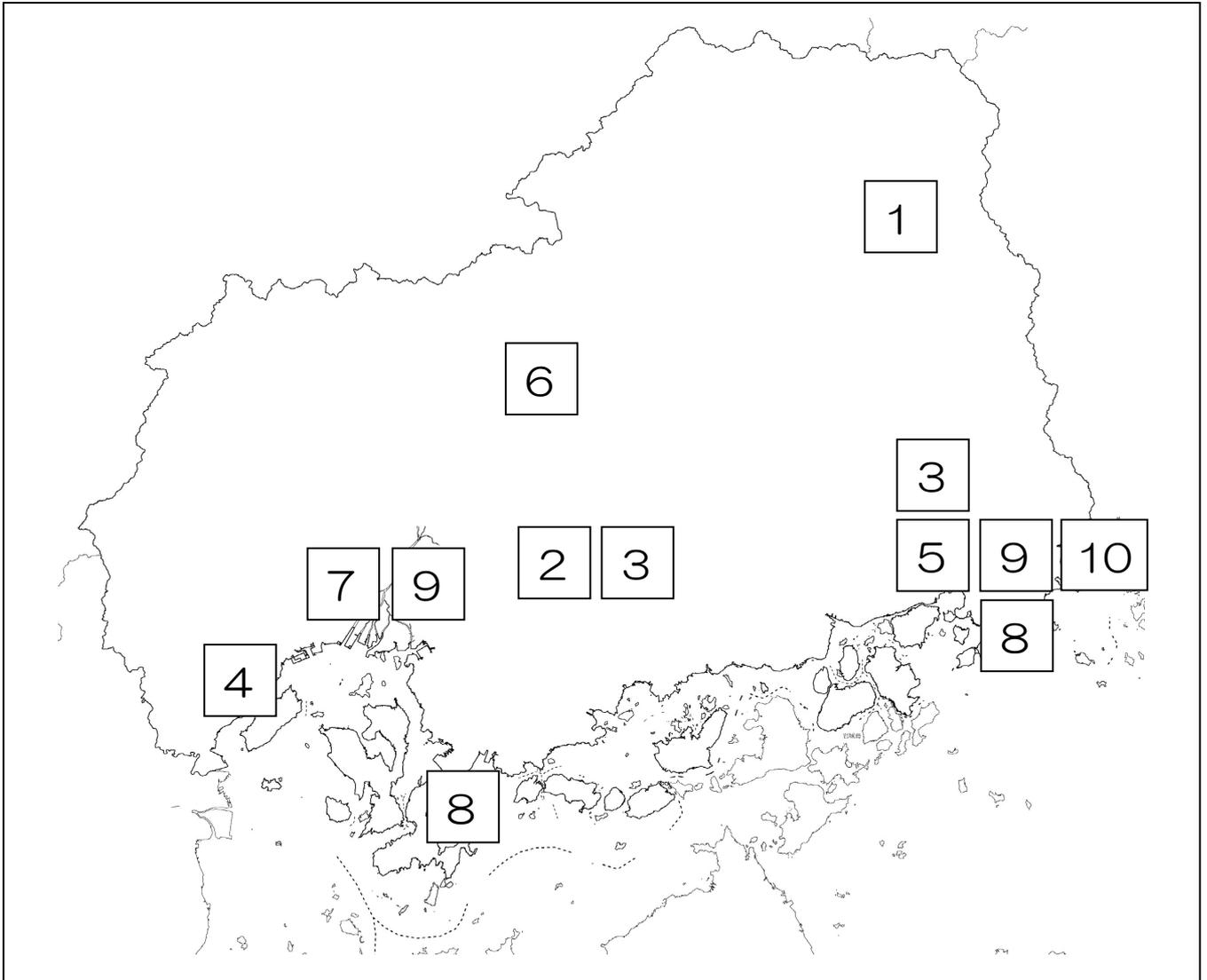
◇ 目 次 ◇

◇ ひろしまの歴史 地図	1
◇ ひろしまの歴史 年表	2
◇ 教材の使い方	4
◇ 「郷土ひろしまの歴史Ⅰ」	
1 日本列島の誕生とひろしま	～帝釈峡遺跡群～ 6
2 大和政権とひろしま	～三ツ城古墳～ 10
3 律令国家の成立とひろしま	～備後国府と安芸国分寺～ 14
4 武士の成長とひろしま	～巖島神社と平清盛～ 18
5 中世民衆のくらしとひろしま	～草戸千軒町遺跡～ 22
6 戦国大名とひろしま	～毛利元就～ 26
7 幕藩体制とひろしま	～広島城と城下町～ 30
8 鎖国下の外交とひろしま	～朝鮮通信使～ 34
9 江戸時代の文化とひろしま	～菅茶山と頼山陽～ 38
10 江戸幕府の衰退とひろしま	～阿部正弘～ 42
◇ 主な参考文献一覧, 協力機関・協力者一覧	46
◇ 主な歴史博物館・資料館一覧	48

「郷土ひろしまの歴史Ⅱ」

1 明治維新とひろしま	6 戦後復興とひろしま
2 富国強兵とひろしま	7 高度経済成長とひろしま
3 明治時代の民衆とひろしま	8 日本の伝統芸能とひろしま
4 第一次世界大戦とひろしま	9 日本の伝統文化とひろしま
5 第二次世界大戦とひろしま	10 日本の伝統産業とひろしま

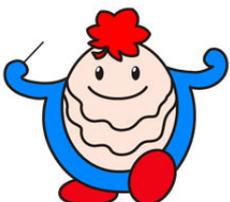
◇ ひろしまの歴史 地図 ◇



「郷土ひろしまの歴史Ⅰ」

- | | | | |
|---|--------------|----|-----------|
| 1 | 「帝釈峡遺跡群」 | 6 | 「毛利元就」 |
| 2 | 「三ツ城古墳」 | 7 | 「広島城と城下町」 |
| 3 | 「備後国府と安芸国分寺」 | 8 | 「朝鮮通信使」 |
| 4 | 「厳島神社と平清盛」 | 9 | 「菅茶山と頼山陽」 |
| 5 | 「草戸千軒町遺跡」 | 10 | 「阿部正弘」 |

ブンカッキー



この教材を紹介するブンカッキーは、けんみん文化祭ひろしまのマスコットキャラクターです。かわいらしい丸い体は広島県の特産品、瀬戸内海の新鮮なカキをモチーフにしたもので、祭典の指揮者をイメージしています。頭には秋に色づく美しい紅葉をあしらひ、体の周囲の青い部分は広島頭文字「ひ」を表しています。愛称のブンカッキーは、「文化」と「カキ」を組み合わせ、明るく活気あふれる祭典となるよう願いを込めて名付けられました。

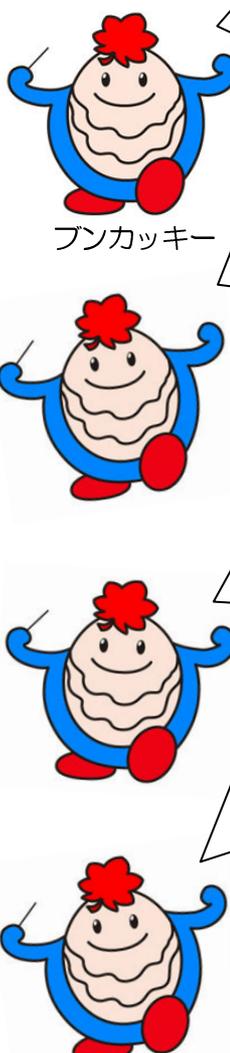
◇ ひろしまの歴史 年表 ◇

区分	年代	広島県のおもなできごと	年代	日本のおもなできごと		
原始・古代	旧石器	紀元前	冠遺跡群(廿日市市), 下本谷遺跡(三次市)	紀元前	日本列島が誕生する 採集や狩りによって生活する	
		縄文	帝釈峡遺跡群(庄原市・神石高原町), 大由貝塚(尾道市), 洗谷貝塚(福山市), 比治山貝塚(広島市)		稲作, 金属器の使用が始まる	
	弥生	紀元	木の宗山遺跡・中山貝塚(広島市), 西本遺跡群(東広島市), 大宮遺跡・ 御領遺跡(福山市), 和田原遺跡群(庄原市), 矢谷墳丘墓(三次市)	紀元		
		古墳	中小古墳群(広島市), 甲立古墳(安芸高田市), 辰ノ口古墳(神石高原町), 三ツ城古墳(東広島市), 浄楽寺・七ツ塚古墳群(三次市), 二子塚古墳(福山市)	57	倭国(ヤマト)が後漢に使いを送る	
	奈良	618	造船の使者が安芸に派遣され, 船を造る	239	卑弥呼が魏に使いを送る	
		741	この頃に安芸国や備後国がおかれる 安芸国分寺(東広島市), 備後国分寺 (福山市)の建立が始まる	593	聖徳太子が摂政になる	
	平安	鎌倉	1151	平清盛が安芸守となる	645	大化の改新がはじまる
			1160	平清盛が厳島神社に参詣する	710	都を平城京(奈良)に移す
			1186	後白河上皇が大田荘(世羅町)を高野山に寄進する	741	国分寺建立の詔が出される
			1221	承久の乱の結果, 関東の御家人が安芸国内の地頭に任命される	794	都を平安京(京都)に移す
中世	室町		この頃に草戸千軒(福山市)の町ができる	894	遣唐使が停止される	
		1335	安芸国守護武田信武が足利尊氏方として挙兵する	1086	白河上皇が院政をはじめ	
		1336	足利尊氏が九州から京都に攻めのぼる途中, 浄土寺(尾道市)に立ち寄る	1167	平清盛が太政大臣となる	
		1485	浄土寺領・檀田村(三次市)の百姓が連判して, 武士の代官を拒否する	1192	源頼朝が征夷大将軍となる	
		1523	毛利元就が毛利家を相続し, 郡山城に入る	1221	承久の乱	
戦国	安土桃山	1541	毛利元就が尼子晴久を破る	1232	御成敗式目の制定	
		1555	毛利元就が陶晴賢を厳島の戦いで破る	1274	文永の役	
		1589	毛利輝元が「広島」と名付け, 広島城の築城がはじまる	1281	弘安の役	
		1601	福島正則が毛利氏に代わって広島城に入る	1333	鎌倉幕府が滅びる	
近世	江戸		朝鮮通信使が下蒲刈の三之瀬(呉市)や鞆(福山市)に停泊する	1334	建武の新政がはじまる	
				1336	南北朝に分かれ, 対立する	

◇ 教材の使い方 ◇

この教材には、広島県の歴史の概要や身近な地域の歴史を調べるときの調べ方や学び方が書かれています。ブンカッキーと一緒にこの教材の使い方を確認していきましょう！

1 広島県の歴史を学ぼう！



みんなは、小学校のとき、広島県の歴史についてどんなことを勉強したかな？

「原爆ドーム」のことは小学校の教科書にも出ていたし、平和学習でも学んだよ。でも、それ以外のことはあまり知らないなあ。

広島には、世界文化遺産の「厳島神社」をはじめ、数多くの文化財や伝統・文化が残っているんだよ。日本の政治や文化に影響を与えた人物もたくさんいるよ。

この前、家族でみよし風土記の丘に行って、初めて本物の古墳を見たわ。広島にもいろいろな形の古墳があるなんて知らなかったな。

小学校の時に「遣唐使」について学んだのを覚えているかな？

その遣唐使船が広島で造られたといわれているんだよ。

本当？すごいなー。でも、なぜ、遣唐使船は広島で造られたのかな？

いい質問だね。瀬戸内海は、都と中国や朝鮮などの外国を結ぶ重要な航路なんだよ。その当時、広島は船の停泊地になっていたんだ。

広島は船を造るのに適した材木の産地だったし、渡来人が造船の技術を伝えたことなどで、遣唐使船が造られていったんだよ。

遣唐使という国の重要な仕事で、広島はすごく大切な役割をになっていたんだね！

他にはどんなことがあるのかしら？広島県の歴史についてもっと知りたいわ！

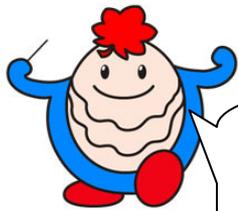
教材の使い方を確認しよう！

この教材では、広島県の歴史の中から、旧石器時代から江戸時代までの10のテーマを取り上げています。身近な地域の歴史を調べる活動や各時代の学習のときに活用してください。身近な地域の歴史とのかかわりの中で、我が国の歴史の動きを学んでいきましょう！

また、みなさんが住んでいる地域にも、その地域の歴史がたくさんあります。この教材を参考に身近な地域の歴史を調べてみましょう。こうした学習を通して、広島県の歴史や伝統・文化に対する理解を深め、大切にしてほしいと思います。

さあ、広島県の歴史を学んでいきましょう！

2 身近な地域の歴史の調べ方や学び方を身に付けよう！



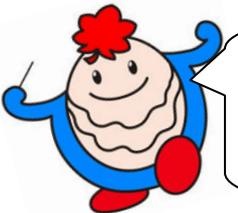
歴史を学ぶときは、どんなことが大切なのかな？ 身近な地域の歴史ってどうやって調べればいいの？



さっき遣唐使船の話をした時に、「なぜ、遣唐使船は広島で造られたのかな？」と聞いたよね。

歴史を学ぶ時には「なぜ」「どうして」と考えることが大切なんだ。そうすれば、その出来事とその他の出来事との関連が分かるんだよ。

そうか。遣唐使船と広島の材木や瀬戸内海の交通がつながっていたことが分かったよね。



それから、歴史では、そのできごとが「いつ」のことなのかもすごく大切だよ。

他にも、「誰が」「どこで」「何を」「どのように」したのかという「5W1H」を考えるといいね。

?

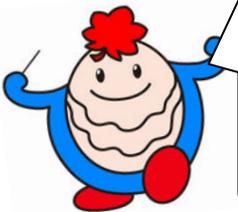


ねえ、ブンカッキー！ みよし風土記の丘にある「県立歴史民俗資料館」で、古墳から出てきた埴輪などを見たわ。

その当時の村の様子を再現した模型があったけど、なぜ、古墳が造られた頃の村の様子が分かるのかしら？

埴輪にはどんな形をしたものがあったかな？

丸い柱のような形のものがあったけど、家や動物の形をしたものがあったわ。



家の形をした埴輪からは、当時の豪族の家の形や構造が分かるよね。動物の埴輪からはどのような動物が身近にいたかが分かるよね。

また、古墳が造られた時代の住居の跡やそこから出土したものを調べれば、人々がどんな生活をしてきたかが分かるんだ。

そうか。出土したものを調べればいいんだ！

!



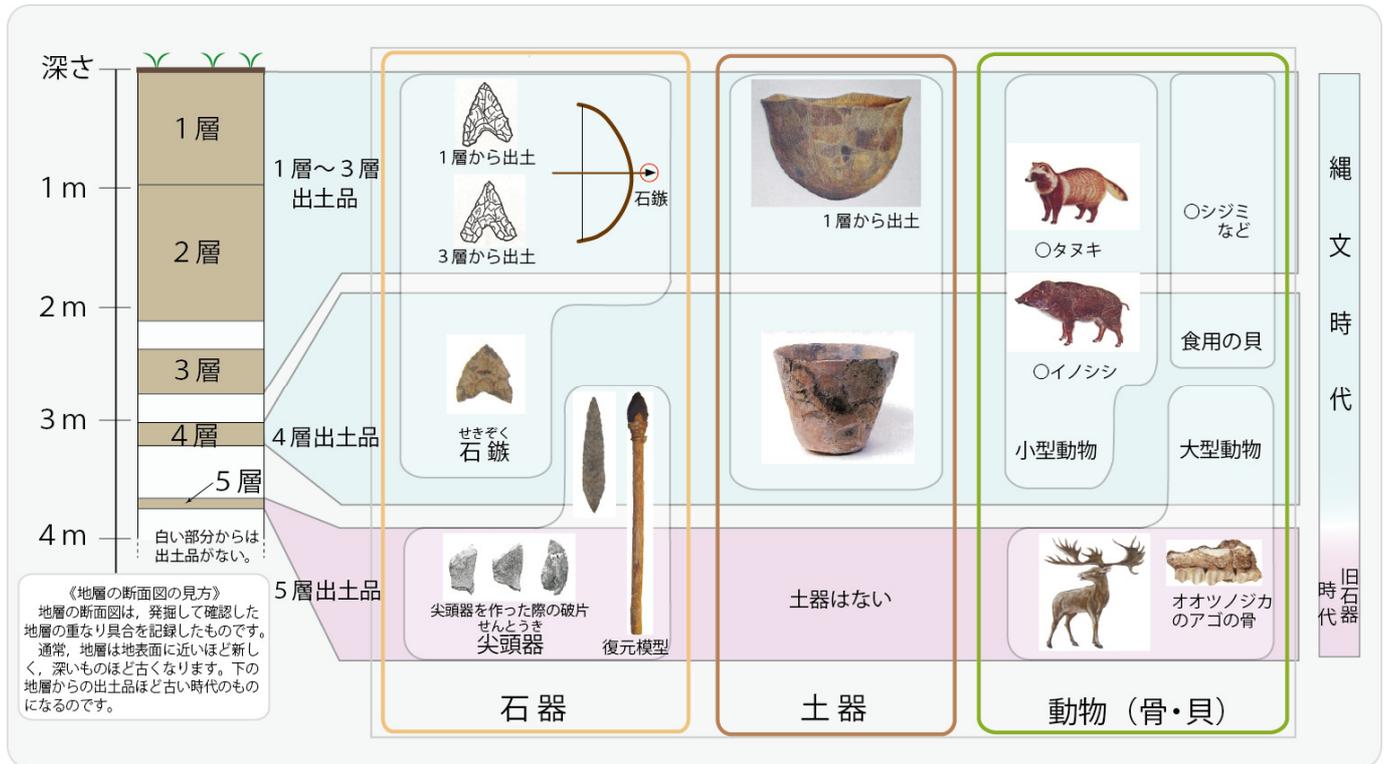
教材の使い方を確認しよう！

この教材では、身近な地域の歴史を調べるときに、何に着目して、どのような方法で調べていけばよいのかなど、身近な地域の歴史の調べ方や学び方の例を書いています。みなさんが身近な地域の歴史を調べるときの参考にしてください。

身近な地域の歴史を調べる時には、他の地域とのつながりや我が国の歴史とのかかわりを考えることも大切です。各テーマの最後にある「もっと調べてみよう！郷土の歴史」や「もっと知りたい！郷土の歴史」も参考にしてください。

さあ、身近な地域の歴史の調べ方や学び方を身に付けていきましょう！

また、4層からは、石鏃や尖頭器(槍の先につける石器)、土器、イノシシなどの動物の骨、貝類などが出土しています。さらに、5層からは、数多くの石器のかけらやオオツノジカのアゴの骨が出土しています。



帝釈馬渡岩陰遺跡の地層の断面図と出土品(出土品は広島大学蔵)

3 帝釈峡遺跡群の出土品からどのようなことが分かるのでしょうか？

遺跡からの出土品によって、その遺跡がいつの時代のものなのか、当時の人々がどのような生活を送っていたのかなどを知ることができます。

上の図を見てください。5層は、出土品から旧石器時代の地層と考えられます。石器のかけらは、尖頭器をつくる際に出たものです。オオツノジカは氷河期の終わりとともに絶滅した大型動物の一つです。この時代には、広島県にもオオツノジカなどの大型動物が生息し、私たちの祖先は、それを狩りの対象としていたことが分かります。

また、1層～4層は出土品から縄文時代にあたりと考えられます。4層からの出土品に注目してみましょう。4層では、旧石器時代から使用されていた尖頭器が引き続き見つかる一方で、それまでにはなかった石鏃や土器が見つかります。石鏃は弓矢を使用していたことを示します。土器は煮炊きやドングリなどのアク抜きに使用されたと考えられています。

縄文時代が始まる頃、それまで氷河期と呼ばれる寒冷な気候から現在のような温暖な気候になり、野山に育つ草木など植物の種類や動物の種類が変化しました。山にはドングリなど食べられる木の実がなり、大型の動物が姿を消してイノシシやタヌキなど動きの素早い小型の動物が増えました。

4層にみられる道具の変化は、このような自然の移り変わりに対応するために、私たちの祖先が新たな道具を使うようになったことを示しています。

また、帝釈峡遺跡群では、石錘せきすいという丸い石に細い溝みぞが彫りこまれた石器が数多く出土しています。これらの石はどのように使用されたのでしょうか。

これは、網あみのおもりとして使われていたと考えられています。網は川での漁に使われました。魚介類ぎょかいりいを食料にするようになったのも縄文時代からです。これも自然環境の変化に人々が適応した結果と言えます。

網は見つからなくても石錘があったことから漁業をしていたことが分かるんだね！



出土した石錘（広島大学蔵）



石錘の使い方（復元写真）

旧石器時代から縄文時代にかけての自然環境の変化と人々のくらしの変化について、調べたことや考えたことをもとに自分の言葉でまとめてみましょう！



ここからは、「もっと調べてみよう！郷土の歴史」と「もっと知りたい！郷土の歴史」のコーナーです。テーマに関連して、もっと調べてみたらよい内容や関連する歴史について書いているよ！

【もっと調べてみよう！郷土の歴史】

- 帝釈峡遺跡群の展示施設じゅうかんとく時悠館に行って調べてみよう！
 - ・なぜ、帝釈峡から縄文時代の遺跡がたくさん見つかったのでしょうか。
 - ・石器や土器、動物の骨や貝類以外にどんなものが出土しているのでしょうか。
 - ・死者をどのように埋葬したのでしょうか。死者の埋葬の仕方を調べてみましょう。
- 廿日市市吉和にある冠遺跡群かんむりいせきぐんについて調べてみよう！
 - ・冠遺跡群とは、どのような遺跡でしょうか。
 - ・冠遺跡群周辺の石が帝釈峡遺跡群でも見ついているのはどうしてでしょうか。

帝釈峡から多くの遺跡が見つかるのってどんな理由があるのかな？



- ◇ まほろばの里 庄原市帝釈峡博物展示施設 時悠館
住所：庄原市東城町帝釈未渡 1909 TEL：08477-6-0161 [HP](#)
※ 帝釈峡遺跡群の出土品や縄文時代の人々のくらしについて展示されています。
- ◇ 神石高原町立神石民俗資料館
住所：神石郡神石高原町永野 5036-1 TEL：0847-86-0151
※ 帝釈峡遺跡群の一つである帝釈観音堂洞窟遺跡の出土品が展示されています。
- ◇ 広島県立歴史民俗資料館・広島県立みよし風土記の丘
住所：三次市小田幸町 122 TEL：0824-66-2881 [HP](#)

身近な地域にどんな遺跡があるのか、僕もホームページで調べてみよう！



身近な地域の遺跡を調べてみよう！

～「広島県遺跡地図」～

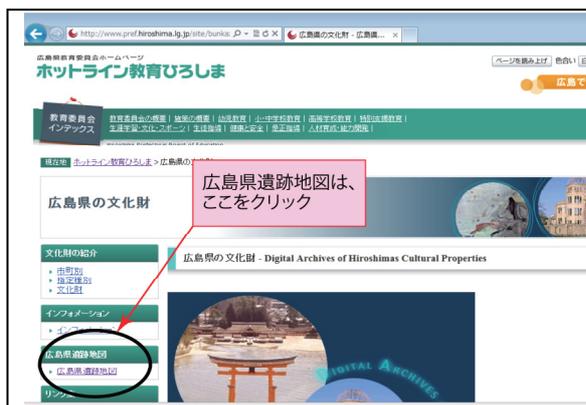
広島県教育委員会のホームページ「ホットライン教育ひろしま」の中に、「広島県の文化財」という県内の文化財について紹介しているページがあります。そのなかに「広島県遺跡地図」があり、これを開くと遺跡地図の利用規約が表示されます。そして、そのページの下にある「同意して利用する」を選ぶと、「地図から探す」と「市町名から探す」という画面が表示されます。ここでは、それぞれの調べ方を紹介します。

(1) 「地図から探す」～身近な地域のどこに遺跡があるか調べたいとき～

- ① 広島県全体の地図が表示されます。住んでいる地域を選んでクリックしてみてください。
- ② その地域の詳しい地図が表示され、地図の上に赤いマークと番号があります。マークの位置は遺跡の場所で、番号は遺跡の情報を一覧表で確認するときに使います。
- ③ 地図の右下の「一覧表へ」をクリックすると、その地図に表示された市や町の遺跡の一覧表が表示されますので、調べたい遺跡の番号の欄を見ると、遺跡の名前や種類、時代など、その遺跡の情報を確認することができます。

(2) 「市町名から探す」～身近な地域の「〇〇時代の遺跡」や古墳、山城跡など、調べたい遺跡の名前・時代・種類が分かっているとき～

- ① 県内の市町名の一覧が表示されます。住んでいる市町を選んでください。
- ② 選んだ市町にある遺跡の情報についての一覧表が表示されます(上の③と同じ表)。
- ③ 一覧表の中から、調べたい遺跡名や時代、種類などを探し、遺跡の番号(表の左から2番目)を確認します。また、その番号の右端の「地図番号」を確認します。
- ④ 一覧表の一番下に「関連地図へ」があります。③で確認した地図番号をクリックすると、その地図が表示されますので、その地図の中から、確認した遺跡の番号を探します。

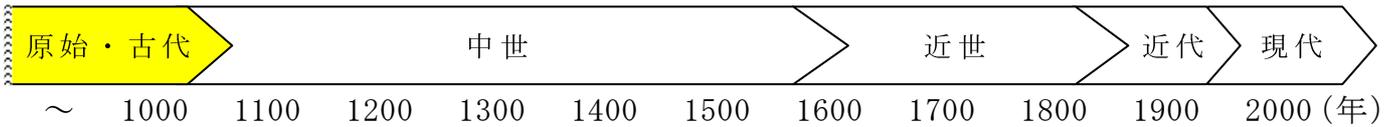


「広島県の文化財」のホームページの画面

《遺跡を見学するときの注意点》

- ① 遺跡のある畑や山などが私有地の場合には勝手に入ってはけません。
- ② 地面を掘ってはけません。
- ③ 山城跡や山中の古墳などは、5～10月は草が多く見えにくいので、マムシやハチなど危険が多いので、注意が必要です。

やまとせいけん 2 大和政権とひろしま ～み じょう こ ふん 三ツ城古墳～



1 三ツ城古墳とはどのような遺跡でしょうか？



三ツ城古墳の全景 (撮影：井手三千男)

三ツ城古墳は、東広島市西条中央にあり、南の八幡山からのびる丘陵の先端を利用して造られた3基からなる古墳です。第1号古墳は、全長約92mの広島県内最大の前方後円墳で、5世紀前半に造られました。第2号古墳も5世紀前半に造られた円墳ですが、第1号古墳より前に造られたものと考えられています。また、第2号古墳の周溝(周りに掘られた溝)内にある第3号古墳は楕円の形をしており、6世紀前半頃に造られたと考えられています。



三ツ城第1号古墳はどのようにして造られ、どのような人が埋葬されていたのでしょうか？

2 県内最大の前方後円墳である第1号古墳はどのような古墳でしょうか？

第1号古墳は、墳丘が3段に築かれており、各段に埴輪を立て並べ、上2段の墳丘斜面は葺石⁽¹⁾で覆われています。埴輪の総数は1800本余りで、円筒埴輪

のほか、前方部に にわとり 鶏，みずとり 水鳥，かぶと 冑，たんこう 短甲などの形をした埴輪が、後円部に家形の埴輪が置かれています。墳丘の周囲には、深さ約1mの周溝が掘られています。古墳の左右のくびれ部には、祭壇と考えられる四角い形の造出があります。



朝顔形埴輪(中央)
高さ 75～85cm
円筒埴輪(左右)
高さ 60～70cm
(東広島市教育委員会蔵)



復元された埴輪の列(東広島市教育委員会提供)

3 古墳はどのように造られたのでしょうか？

古墳を造ることは、優れた技術(技術者)と多くの費用、一度に大勢の人々を動員する必要がある大規模な土木工事です。工事を行う人の手配と食料等の用意、古墳を造るのに必要な道具の手配、大量の埴輪を作る工人集団の準備など、すべてが綿密な計画のもとに進められました。

古墳は、次のような順序で造られたと考えられています。



①古墳を造る場所を選ぶ。



②設計図をもとに地面に線を描き、目印になるところに杭を打つ。



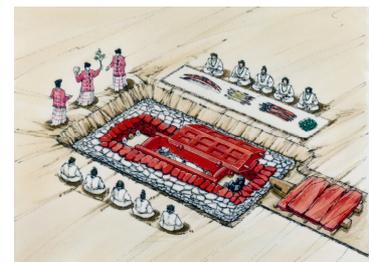
③地面を掘り下げて、周溝をつくり、その土を堀の内側に盛り上げていく。



④形が整ったら、墳丘の斜面に葺石を並べる。修羅という木のそりに石をのせて頂上に運び、石棺を組み立てる。



⑤埴輪を墳丘や堤に立てて並べる。



⑥首長の死後、遺体を頂上に運び、葬送の儀式を行う。石室を土で覆うと完了する。

古墳の造り方(藤井寺市教育委員会提供)

4 第1号古墳に埋葬されているのはどのような人物だったのでしょうか？

第1号古墳の後円部から、埋葬施設(遺体を納めた場所)が三つ見つかりました。

1号埋葬施設は後円部の中心からはずれた位置に造られており、箱形石棺(2)の周りを小さな石を積んで囲ったものです。2号埋葬施設は後円部の中心に造られ、箱形石棺の周りを平らな石で囲んで二重の箱形石棺のようにした構造で、さらに小さな石を積んでその周りを



第1号古墳の埋葬施設(東広島市教育委員会提供)

を囲んでいます。棺の内側の大きさは一番大きく、また2トンを超えるような大きな石が使われていました。3号埋葬施設は中心からはずれた位置に造られ、平らな石を組み合わせただけのもので、大きさも一番小さな埋葬施設です。

また、1号埋葬施設からは女性の人骨、銅鏡や首飾り、鉄製の刀などが、2号埋葬施設からは男性の人骨、首飾りや櫛、銅製のブレスレット、鉄製の刀などが、3号埋葬施設からは首飾り、鉄製の剣や銚・鏃が出土しています。

古墳について研究する際、埋葬施設が造られている場所、埋葬施設の構造や大きさ、さらに、内部から見つかったものは、そこに埋葬された人物について考える重要な手がかりとなります。

この古墳では、後円部の中心に造られた最も丁寧で大きな2号埋葬施設に埋葬された男性が中心的な人物であると推測できます。

第1号古墳は、広島県西部(後の安芸国)で最大の前方後円墳であることから、この男性は広島県西部を統率した首長で、大和政権に属した豪族であることが分かります。しかし、大和政権の中心部である近畿地方のものとは異なり、弥生時代から広島県西部で盛んに造られてきた箱形石棺に埋葬されていることから判断すれば、地域に根ざした豪族ではないかと考えられます。

なお、第1号古墳が造られた古墳時代中期(5世紀代)は全国的にも古墳が巨大化する時期で、日本最大の古墳である大仙(仁徳陵)古墳(大阪府)もこの頃に造られました。



第1号古墳の埋葬施設の出土品
(広島大学蔵)

三ツ城古墳とはどのような古墳なのか、調べたことや考えたことをもとに自分の言葉でまとめてみましょう！



【注】

- (1) 斜面にすき間なく並べられた石。盛り土が流れ出すのを防ぐとともに周囲から墳丘を目立たせる。
- (2) 板石を箱状に組み合わせた石棺。日本では弥生時代から古墳時代に用いられた。

【もっと調べてみよう！郷土の歴史】

○三ツ城古墳や三ツ城古墳ガイドンスコーナーに実際に行って調べてみよう！

- ・三ツ城古墳からどのようなものが出土しているのでしょうか。
- ・どのようにして多くの埴輪を作ったのでしょうか。

○みよし風土記の丘にある古墳を調べてみよう！

- ・みよし風土記の丘にある古墳はどのくらいあるのでしょうか。
- ・みよし風土記の丘にある古墳はいつ頃造られたのでしょうか。

○身近な地域の古墳を調べてみよう！

- ・身近な地域の古墳の形や大きさはどのくらいでしょうか。
- ・身近な地域の古墳はいつ頃造られたのでしょうか。

この前、家族で「みよし風土記の丘」に行ってきたよ！みんなも行ってみよう！



◇東広島市立中央図書館内三ツ城古墳ガイドンスコーナー

住所：東広島市西条中央7-25-11 TEL：082-424-9449 [HP](#)

※古墳築造を再現した模型や出土した埴輪や副葬品が展示されています。

◇広島県立歴史民俗資料館・広島県立みよし風土記の丘

住所：三次市小田幸町122 TEL：0824-66-2881 [HP](#)

※広島県内の遺跡から出土した原始・古代の遺物を中心に展示されています。

◇広島県立歴史博物館

住所：福山市西町2-4-1 TEL：084-931-2513 [HP](#)

【もっと知りたい！郷土の歴史】

古代ローマ帝国産ガラス

まつがさこやだにいせき
～松ヶ迫矢谷遺跡(三次市)～

三次市東酒屋町の松ヶ迫矢谷遺跡にある弥生時代末の王の墓(矢谷墳丘墓・3世紀前半)を取り囲む墓から出土したガラス玉3点(直径約1cm)が古代ローマ帝国産ガラスで作られていた可能性の高いことが分かりました。

ガラス玉は、1977(昭和52)年、三次工業団地造成に伴って行われた発掘調査で埋葬施設から出土しました。コバルト色で、長さ7.3～7.9mm、直径8.8～9.9mm。中央に穴が空けられ、装身具の一部に使われたと推測されています。奈良文化財研究所が分析した結果、これらのガラス玉はローマ帝国産ガラスの特徴を示しました。ガラスの産地は、地中海沿岸から中東にかけてのエリアと考えられますが、玉形に加工したり、色付けしたりした地域は不明です。広島県立歴史民俗資料館は、「ローマ帝国産のガラスで作られたと推測されるガラス玉としては国内最古級で、1800年前の物流が確認できる貴重な資料である」と説明しています。

三次に古代ローマ帝国産ガラスで作られたガラス玉があったなんてすごいなあ！弥生時代の頃に日本は世界とつながっていたんだね。



松ヶ迫矢谷遺跡のガラス玉
(広島県立歴史民俗資料館蔵)

3 律令国家の成立とひろしま ～備後国府と安芸国分寺～

原始・古代

中世

近世

近代

現代

～ 1000 1100 1200 1300 1400 1500 1600 1700 1800 1900 2000 (年)

1 備後国や安芸国はどのような様子 of 国だったのでしょか？

律令国家の仕組みが整えられていく中で、各地域は「国」に区分され、現在の広島県にあたる地域は、備後国と安芸国に分けられていました。

備後国は、7世紀の終わり頃に吉備国を三つに分けてその西端をあて、安芸国は、734(天平6)年に西の周防国との境を大竹川(現在の小瀬川)に定めてつくられました。

当時の備後国や安芸国の様子は、『日本書紀』などの文献から読み取ることができます。地方制度の仕組みは、国・郡・里(里は後に郷に変更)の三段階に分けられました。奈良時代の初め頃に、備後国は14郡、安芸国は8郡に区分されており、都まで様々な税を運んでいたことなどが分かります。

右の図は、現在の広島県に当たる地域にあった「郡」です。安芸郡や世羅郡など今でも使われている郡名があります。また、同じように「駅家」「船木」「高屋」「緑井」などの里(郷)名も残っています。また、県内のこの頃の代表的な遺跡として、備後国府跡や安芸国分寺跡などがあります。

	備後国	安芸国
郡	14 郡	8 郡
郷	65 郷	62 郷
人口	約 7 万 2900 人	約 6 万 5600 人
調(税)	白絹・鉄・塩など	綾・白絹・塩など
都まで	11 日	14 日

備後国や安芸国の様子



備後国と安芸国におかれた郡



備後国府や安芸国分寺は、どのような役割をになっていたのでしょうか？

2 備後国府はどのような役割をになっていたのでしょうか？

律令国家では、各地域を「国」として分けると同時に、それを治める仕組みも変えました。それまでは地方の有力豪族を国造に任命していましたが、これを改め、都から国司を派遣して治めることにしたのです。派遣された国司が政治を行う役所があった場所を国府といいます。

備後国府は、「府中」という地名から、長い間、現在の府中市が有力な候補地でしたが、1980年代から始まった発掘調査で、市街地の北部に広がっていたと考えられるようになり、その様子も明らかになりつつあります。その理由としては、次のようなことがあげられます。

- ① 古代の役所に多い細長い建物跡が見つかったこと。
- ② 同じく、倉庫と推定される建物跡が見つかったこと。
- ③ 建物やそれを区画する溝・柵などが東西－南北方向に計画的につくられていること。
- ④ 須恵器製の硯が多く出土していること。
- ⑤ 儀式で使ったと考えられる土器が数多く出土していること。
- ⑥ 都周辺で生産された緑釉陶器や中国から輸入された磁器などが出土していること。



円面硯



ガラス玉が入った奈良三彩小壺



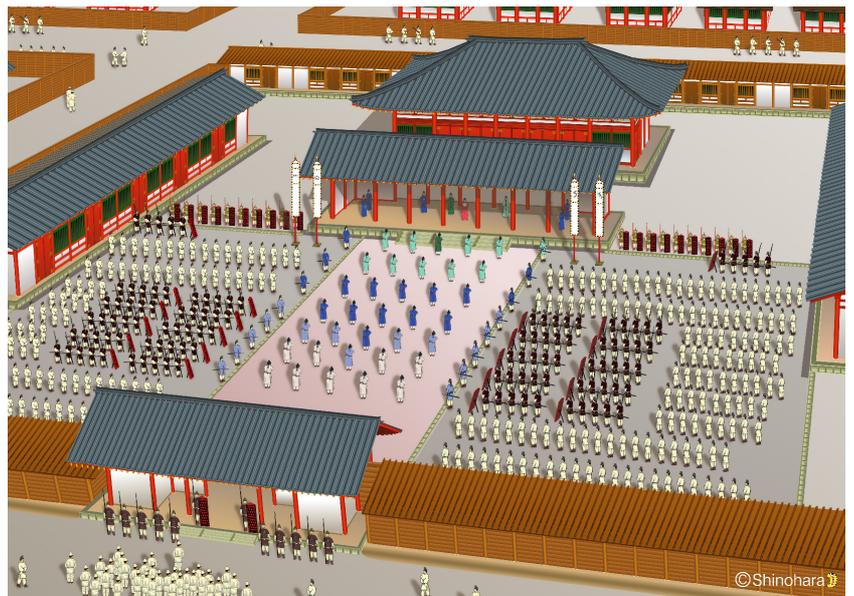
役人が使用した銅製の私印

備後国府跡の出土品（府中市教育委員会蔵）

国府で行われた仕事は、行政・税務・司法(裁判)・警察・軍事などすべてにわたっていました。行った仕事の内容は細かく中央政府に報告する義務があったので、たくさんの報告書が次々と都に送られました。

奈良時代の都があった平城京跡などからは、数多くの木簡が見つかります。紙が貴重だったこの時代、その代わりや荷札などに木簡が使われ、用が済んだものは刀子(小刀)で表面を薄く削ることで、繰り返し使われました。

平城京跡から出土した奈良時代初期の木簡の中に、「備後国葦田郡葦田里／氷高親王宮春税五斗」と記された荷札があります。



国府の様子(想像図)

(下野国府朝賀之儀 作画:篠原祐一)

これは、葦田里(現在の福山市北部から府中市南部)が氷高親王(後の元正天皇)の封戸(私有地)の一つであったことを示しており、この地域が天皇家と関係が強かったことがうかがえます。

3 安芸国分寺はどのような役割をになっていたのでしょうか？

741(天平13)年、聖武天皇により国分寺建立の詔が出され、757(天平宝字元)年頃までには、各国の国分寺と国分尼寺で法会(法要)ができるようになりました。備後国分寺は福山市神辺町、安芸国分寺は東広島市西条町にあり、発掘調査によって当時の様子も明らかになってきています。

安芸国分寺は、西条盆地北端の緩やかな傾斜地にあります。発掘調査によって多量の木簡や墨書土器(墨で文字が書かれた土器)が出土しました。このことから、750(天平勝宝2)年には、仏像を納める金堂(本堂)などお寺の主要な建物が建ち、僧侶が住んで法会を営んでいたことが考えられるようになりました。

これらの資料は、奈良時代の安芸国分寺の様子を明らかにする極めて貴重なものです。出土した木簡の一枚には、「(米)四斗をお送りします。目(国司の一人)大夫(様)の分です。発送者(または持参者)は秦人乙磨です。天平勝宝二年四月二十九日に帳(郡司の一人)佐伯部足嶋がこれを書きました」と書かれています。法会に参列する国司のために送られた米の送り状と推定されるものです。

この他にも、「佐伯郡米五斗」(佐伯郡から送られた米の荷札)、「山方郡六口佐良」(山県郡から送られた佐良(皿)の荷札)や安芸郡、高宮郡、沙田郡、賀茂郡内など法会を開催するために、安芸国の各地から様々な品物が安芸国分寺に送られていたことが分かります。

また、墨書土器には、「安居」(夏季の修行)や「齋会」(正月の法会)、さらに僧侶の名前や建物の名前を書いたものがあります。

これらのことから、聖武天皇の鎮護国家の思想に基づき、安芸国においても様々な仏教行事が行われていたことが分かります。



(米)四斗 目大夫御料者 送人 秦人乙磨付

天平勝宝二年 四月廿九日帳佐伯マ足嶋



土器に書かれた文字「安居」



土器に書かれた文字「齋会」

安芸国分寺跡の出土品(東広島市教育委員会蔵)

備後国府や安芸国分寺の役割について、調べたことや考えたことをもとに自分の言葉でまとめてみましょう！



【もっと調べてみよう！郷土の歴史】

○備後国分寺についても調べてみよう！

- ・備後国分寺は、どこにあったのでしょうか？
- ・備後国分寺跡の発掘調査では、どのようなことが分かったのでしょうか？

○身近な地域の律令制にかかわることを調べてみよう！

- ・身近な地域にある奈良時代や平安時代の寺や役所の跡を調べてみましょう！
- ・身近な地域の地名はいつ頃から呼ばれているのでしょうか？
- ・県内に残る「里(郷)」名には、どんなものがあるのでしょうか？

「広島県遺跡地図」(P9)や地名辞典などを使って調べてみるといいよ！



◇府中市歴史民俗資料館

住所 府中市土生町 882-2 TEL: 0847-43-4646 H P

※縄文～古墳時代、備後国府を中心に奈良・平安時代の遺物が展示されています。

◇広島県立歴史民俗資料館・広島県立みよし風土記の丘

住所: 三次市小田幸町 122 TEL: 0824-66-2881 H P

◇広島県立歴史博物館

住所: 福山市西町2-4-1 TEL: 084-931-2513 H P

【もっと知りたい！郷土の歴史】

古墳から寺院へ

てらまちはいしあと みたにでら
～寺町廃寺跡と三谷寺(三次市)～

三次にはたくさん古墳があったけど、今度は寺院が造られていくんだね！



6世紀中頃に百済から伝えられたとされる仏教は、都や各地の豪族たちによって受け入れられ、7世紀後半頃になると豪族たちはそれまでの古墳に替わり、権威を示すものとして寺院を建立するようになりました。

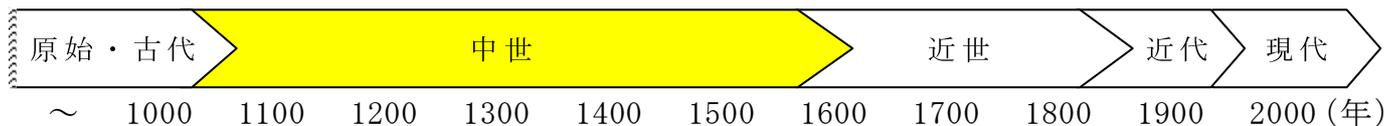
こうした寺院の一つに、三次市にある寺町廃寺跡があります。この寺跡は、平安時代に書かれた仏教説話集「日本霊異記」に登場する「三谷寺」ではないかと考えられています。この説話集には、三谷寺は備後国三谷郡の大領(郡司)の祖先が白村江の戦の後、百済の僧を招いて建立した寺院であると書かれています。

日本で寺院が建てられるようになった時代は、ちょうど中央集権国家がつくられていく時期にあたり、豪族たちは、中央政府の命令に従って地域を治める地方官(郡司)に任命されるようになりました。日本霊異記に書いてある「三谷郡の大領(郡司)の祖先(=かつての地方豪族)が三谷寺を建てた」という内容は、まさにこうした歴史を物語っています。



寺町廃寺がらん模型
(広島県立歴史博物館蔵)

4 武士の成長とひろしま ～ 厳島神社と平清盛～



1 世界文化遺産である厳島神社とはどのようなものでしょうか？

厳島神社がある宮島は、「日本三景」の一つに挙げられ、日本を代表する観光地として多くの人を訪れています。

1996(平成8)年、厳島神社はユネスコの世界文化遺産に登録されました。厳島神社の登録理由について、日本ユネスコ協会連盟ホームページには、「自然とあり続ける朱丹の神殿」という見出しで、「海上にそびえたつ朱塗りの大鳥居が印象的な厳島神社は、その美しい建物群だけではなく前景には瀬戸内海、背景には神の山とされる瀨山を配し、見事な自然と文化の調和を表現しています。世界遺産としてもその価値を評価されて、周辺の自然地域も含めて登録されました。」と述べられています。



厳島神社の社殿(国宝)と大鳥居(重要文化財)(撮影:新谷孝一)

この厳島神社を厚く信仰し、現在のように海上に浮かぶような形に大改修を行ったのは、平清盛です。



なぜ、平清盛は厳島神社を厚く信仰し、大改修を行ったのでしょうか？

2 厳島神社はどのような歴史があるのでしょうか？

「厳島(いつくしま)」は、元々「伊都岐(伊都伎)島」と書かれ、「いつきしま」と呼ばれていました。

「いつき」とは、「齋き」と書き、「身を清めて神様にお仕えすること」という意味です。つまり、厳島は「神様をお祀りする島」なのです。そして、「いつきしま」の発音が次第に「いつくしま」と発音されるようになったものと考えられています。



大鳥居の扁額

□沖側(写真右)と神社側(写真左)とで表記が違います。

年	おもなできごと
593	厳島神社が創建される
1151	平清盛が安芸守となる ※この頃に厳島神社の大改修を行う
1160	平清盛が厳島神社に参詣する
1164	「平家納経」が奉納される
1167	平清盛が太政大臣となる
1174	後白河法皇らが厳島神社に参詣する
1278	一遍(時宗の開祖)が厳島神社を訪れる
1389	足利義満が厳島神社を訪れる
1555	毛利元就が厳島で陶晴賢を滅ぼす(厳島合戦)
1561	毛利元就と隆元が大鳥居を再建する
1571	毛利元就によって本殿が改築される
1587	豊臣秀吉が千畳閣を建立する
1602	福島正則が平家納経を修復する
1643	林春斎が『日本国事跡考』を著し、松島、天橋立とともに「為三処奇観」と書き記す ※「日本三景」と呼ばれるはじまり
1923	厳島全島が史跡・名勝に指定される
1952	厳島全島が特別史跡・特別名勝に指定される
1954	平家納経が国宝に指定される
1996	厳島神社が世界文化遺産に登録される

厳島神社に関するおもなできごと

るなど政権を握った歴史上の人物とも深い関係がありました。

1643(寛永20)年には、全国を旅した儒学者の林春斎の『日本国事跡考』がきっかけとなり、松島(宮城県)や天橋立(京都府)とともに「日本三景」と呼ばれるようになりました。

3 平清盛とはどのような人物だったのでしょうか？

平清盛は、1118(元永元)年に平忠盛の長男として生まれました。海賊を取り締まり、日宋貿易にもかかわった忠盛の跡を継いだ清盛は、対立する武士を打ち破るとともに、天皇家や藤原氏との関係を深めて勢力を強めます。特に1156(保元元)年の保元の乱、1159(平治元)年の平治の乱に勝利し、源氏の勢力を弱めたことで最も強い力を持つ武士になりました。

1167(仁安2)年には、武士では初めて朝廷の最高職である太政大臣になりました。また、領地や荘園などを各地に広げるとともに日宋貿易にも力を入れます。清盛は、武力や朝廷での地位、領地や荘園、貿易から得られる財力などを背景に強大な権力を手に入れたのです。

『平家物語』などでは、強大な権力を背景に強引に物事を押し進めた人物として描かれ

厳島神社は何度か建て替えられていますが、最初に建立されたのは593年で地元の豪族である佐伯鞍職によるものと伝えられています。

1151(仁平元)年に平清盛が安芸守になった頃から平氏と厳島神社のかかわりは密接になり、やがて清盛は厳島神社の大改修を行いました。社殿は、寝殿造の美しさに加え、海上に浮かぶような神秘的なたたずまいで「極楽浄土をあらわした」と言われています。

1555(弘治元)年には、毛利元就(→P26)と陶晴賢による厳島合戦の舞台となり、その後には毛利家ともかかわりを強めていきました。現在の本殿は、1571(元亀2)年に毛利元就によって改築されたものです。

この他に、1389(元中6・康応元)年に足利義満を訪れたり、1587(天正15)年に豊臣秀吉が千畳閣を建立したりす



『天子撰関御影』の平清盛肖像
(陽明文庫蔵)

る清盛ですが、『愚管抄』という本には「ヨクヨク謹ミテ、イミジク計ラヒテ、彼方此方シケル」という記述もみられます。この文からは、清盛がいろいろな方面に気を配りながら、複雑で不安定な政界を生き抜く力をもっていた人物として捉えられていることが分かります。

4 なぜ、平清盛は厳島神社の大改修を行ったのでしょうか？

清盛は、父に続いて日宋貿易にも力を入れました。この当時、貿易の窓口となっていたのは九州の博多でした。

中国などからの貿易船は、博多の港へ着き、そこから各地へ貿易品が広まっていきました。

清盛は、博多を平家の勢力下に置き続けるとともに博多と都をつなぐ瀬戸内海の航路を

整備していきます。現在の神戸港にあたる大輪田泊の整備も行いました。

呉市の音戸の瀬戸を平清盛が切り開いたという伝説もこのような事業を進める中で生まれたと考えられています。

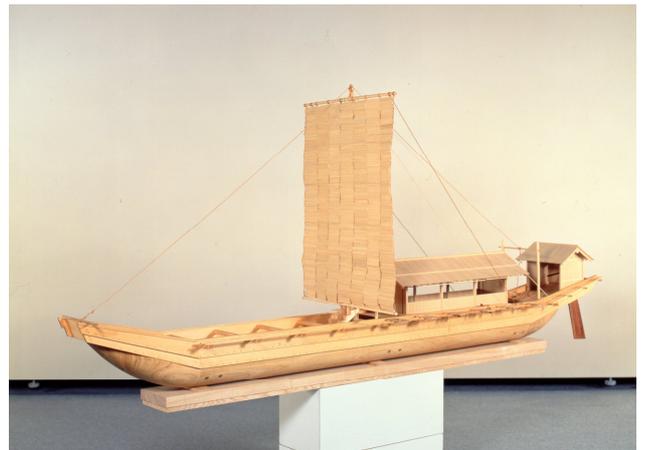
厳島神社を改修し、都から参拝するための航路を整備することは、九州と都とをつなぐ航路を整備することとも重なります。

1164(長寛2)年、清盛は一族の者とともに、きらびやかな装飾をほどこした経典(平家納経)を厳島神社に納めます。これは、平家一門の繁栄と極楽往生を願ったことでした。

海の神として信仰されていた厳島神社でしたが、清盛が再建するまでは、社殿も小規模なものでした。しかし、清盛が大改修を行うと、貴族や天皇の一族も参拝し、厳島神社の権威は高まりました。そして、清盛をはじめとする平家一門は、朝廷の高い位を独占するなど、おおいに繁栄しました。



平安時代後期の日本と中国との貿易ルート



平安時代頃の船の模型
(広島県立歴史博物館蔵)

厳島神社と平清盛の関係について、調べたことや考えたことをもとに自分の言葉でまとめてみましょう！



【もっと調べてみよう！郷土の歴史】

- 厳島神社に実際に行って調べてみよう！
 - ・ 厳島神社は、どのような配置や造りになっているのでしょうか。
 - ・ 厳島神社の周りにはどのような建物があるのでしょうか。
 - ・ 厳島神社の行事である「管絃祭」「玉取り祭」とはどのような祭りでしょうか。
- 厳島神社とかかわりのある歴史上の人物について、調べてみよう！
 - ・ なぜ、毛利元就と陶晴賢は厳島で戦ったのでしょうか。
 - ・ なぜ、足利義満は厳島神社を訪れたのでしょうか。
 - ・ なぜ、豊臣秀吉は千疊閣を建立したのでしょうか。
- 身近な地域にある神社や寺院について調べてみよう！
 - ・ 身近な地域にある神社や寺院は、いつ頃、どのような経緯で、誰が中心となって建立したのでしょうか。

厳島神社は、教科書に出てくる多くの歴史上の人物とかかわりがあったんだね。



◇ 厳島神社宝物館

住所：廿日市市宮島町 1-1 TEL：0829-44-2020

※平家一門をはじめ、時の権力者たちが奉納した美術工芸品が展示されています。

◇ 廿日市市宮島歴史民俗資料館

住所：廿日市市宮島町 57 TEL：0829-44-2019

◇ 一般社団法人宮島観光協会

住所：廿日市市宮島町 1162-18 TEL：0829-44-2011

HP

【もっと知りたい！郷土の歴史】

都の文化をひろしに ～宮島の舞楽(廿日市市)～

厳島神社の社殿が、平安貴族の邸宅などにみられる寝殿造となっていることから分かるように、清盛は、京の貴族の文化を厳島神社に伝えました。

厳島神社では、毎年、大潮の旧暦6月17日に管絃祭が行われます。この管絃祭は、都の貴族の遊びを神事に取り入れたものです。

厳島神社の祭典で舞われる舞楽も、奈良や大阪で舞われていたものを、清盛が取り入れたと言われています。清盛は、厳島神社の社殿を再建するとともに、舞楽の奉納にも熱心で、現在でも厳島神社には、平家一門が1173(承安3)年に奉納した舞楽に使う面が伝わっています。

舞楽は、大陸や朝鮮半島から伝わり大きな寺院などで舞われていた楽舞(音楽と舞)が、平安時代に日本古来の音楽と再編成されて誕生したもので、厳島神社の舞楽は、大阪四天王寺の舞楽の影響を強く受けています。

厳島神社には、この他にも日本を代表する芸能の一つである能も伝えられ、現在まで引き継がれています。



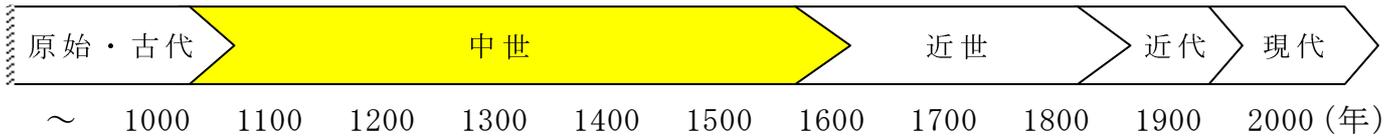
舞楽・蘭陵王
(撮影：新谷孝一)

厳島神社では実際に舞楽がみられるよ。年中行事を確認して行ってみよう！



5 中世民衆のくらしとひろしま ～草戸千軒町遺跡～

くさどせんげんちょういせき



1 草戸千軒町遺跡とはどのような遺跡でしょうか？

草戸千軒(13世紀中頃～16世紀初頭)は福山市内を流れる芦田川(あしだ)の川底から発見された中世の町です。

幻の町とよばれる草戸千軒は、いくつかの転機を経て現代に再びよみがえることになりました。その転機の一つは、芦田川の河川改修工事です。

これを機に大規模な発掘調査が1961(昭和36)年から30年以上にわたって行われ、記録に残っていない当時の生活や文化が明らかになってきました。



草戸千軒町遺跡全景(1986年頃)
(広島県立歴史博物館提供)



草戸千軒における民衆の仕事やくらしはどのようなものだったのでしょうか？

2 草戸千軒とはどのような町だったのでしょか？

草戸千軒という町の名前の由来は諸説あります。神奈川県藤沢市清浄光寺(しょうじょうこうじ)所蔵の『時衆過去帳』(じしゅうかこちょう)で「備後草津」(びんご)において、1343(康永2)年に唯阿弥陀仏(ゆいあみだぶつ)という人物(おうじょう)が往生したと記録されています。この「草津」というのが遺跡周辺の地名だったと考えられます。また、1391(明德2)年の『西大寺諸国末寺帳』(さいだいじしよこくまつじちよう)には「クサイツ草出 常福寺」(じようふくじ)という記載(きささい)があります。この町は本来「草津」という名前で、おそらく「くさいづ」「くさいじ」などと発音されていたと考えられます。時を経て「くさど」に変化したと考えられます。

「草津」の「草」は草野球などにも使われるように、「一般の」「民間の」などの意味があります。「津」は船着き場や港であることを示します。

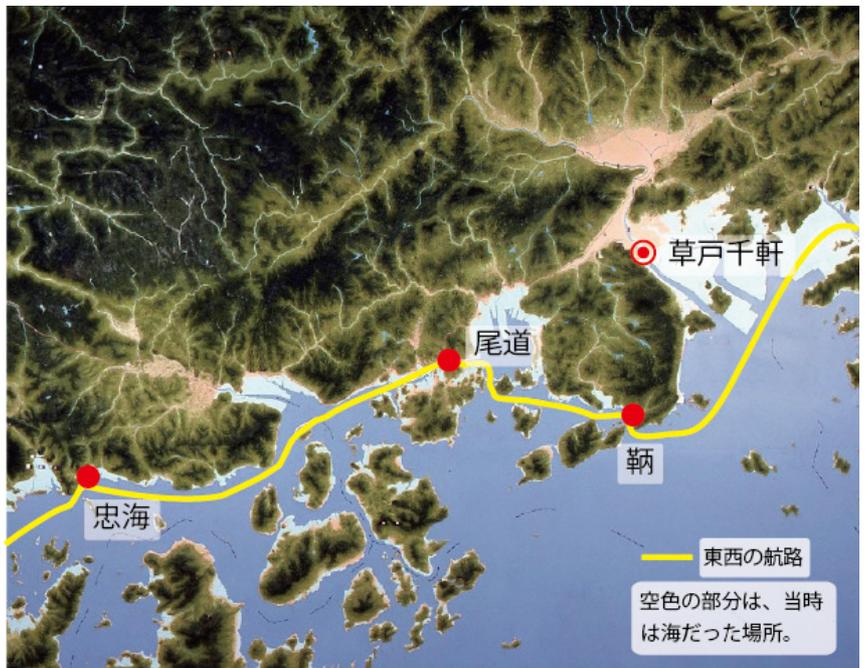
次のページの地形図を見ると、現在の福山湾沿岸と地形が大きく異なることが分かります。かつての福山湾の沿岸だった場所には、この他に「吉津」(よしづ)「奈良津」(ならづ)「深津」(ふかつ)といった地名も残っています。芦田川が瀬戸内海に流れ出る福山湾岸地域は、陸と海を結ぶ交通交易の拠点としての役割をになって



復元された町並み(広島県立歴史博物館内)

いたということです。

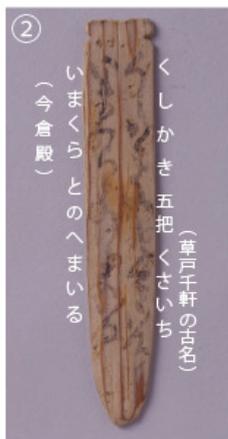
草戸千軒の位置は、芦田川の河口付近に当たり、当時、大きな港町であった鞆と内陸の地域とを結ぶ位置にありました。鞆は、瀬戸内海の航路の重要な港で、東西を行き交う多くの商船が停泊しました。つまり、草戸千軒は、瀬戸内海を東西に結び、遠くは中国・朝鮮へとつながるルート(→P20地図)と間接的につながっていたことが分かります。



中世の備後南部の港町と航路

3 草戸千軒町遺跡の出土品からどのようなことが分かるのでしょうか？

草戸千軒町遺跡からは、多くの木簡が出土しています。その中には、商品取引の明細が書かれているものがあります。これらは一般にメモ書きとして使用されていたようです。また、甕に入った大量の銭も出土しています。この貨幣はほとんどが中国銭で、これらの様子から草戸千軒では商業活動が盛んに行われており、裕福な者も存在していたことが明らかになりました。



銭塊

- ①は灯明油の売買を示します。
- ②の「いまくらとの」は、金融業者と考えられています。
- ③「貫文」は、お金(銅銭)の単位。右の銭塊は5貫文です。

□右上の銭塊は銅銭1文が約5000枚、甕に入った一括銭は約2万枚あります。銅銭1文が50～100円とすると現在の価値でそれぞれいくらでしょうか？



一括銭の出土状況

草戸千軒町遺跡の出土品(広島県立歴史博物館蔵)

この頃、商業活動にたずさわるものとして、農産物を中心にした特産品を管理・保管し中継ぎ取引をする業者である問や、金銭の貸付などを行う土倉、農産物の加工業である酒屋(酒造業者)の存在が知られています。問や土倉などの業者は、港町に居住し、銀行のように金銭を貸し付けていました。草戸千軒にもこのような金融業者がいたのではないかと考えられています。

さらに、遺跡からは、漆塗りの道具や鍛冶の道具も出土しており、草戸千軒には漆塗りの碗や皿、刃物などを作る職人がいたことが分かります。

また、羽子板やサイコロなども出土し、当時の人々の遊びの様子についてもうかがうことができます。この他に200基ほどの井戸も見つかっています。

さらに、中国、朝鮮半島、ベトナムなどで作られた陶磁器も見つかっていることから、貨幣経済が発展しており、日本各地や東アジア世界とつながっていたことが出土品からも分かります。



復元された鍛冶屋の様子
(広島県立歴史博物館内)



復元された塗師屋の様子
(広島県立歴史博物館内)



羽子板



サイコロ (1辺6.5mm)



朝鮮の青磁碗



ベトナムの白磁碗



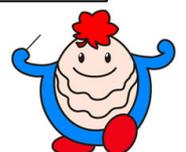
中国の青白磁梅瓶

草戸千軒町遺跡の出土品
(広島県立歴史博物館蔵)



木組井戸 (円形井戸)
(広島県立歴史博物館提供)

草戸千軒における民衆の仕事や暮らしについて、調べたことや考えたことをもとに自分の言葉でまとめましょう！



【もっと調べてみよう！郷土の歴史】

- 広島県立歴史博物館を訪問して実際に調べてみよう！
 - ・草戸千軒町遺跡からは他にどのようなものが出土しているのでしょうか。
 - ・なぜ、草戸千軒は衰退していったのでしょうか。
- 草戸千軒町遺跡の出土品から日本とアジアとの結び付きについて調べてみよう！
 - ・草戸千軒町遺跡の出土品にはどこの国のものがあつたのでしょうか。
 - ・アジアからはどのようにして（方法、ルート）物が運ばれてきたのでしょうか。
- 広島県内の中世の遺跡・町・港を調べてみよう！
 - ・尾道遺跡とはどのような遺跡でしょうか。
 - ・鞆の港はどのような港だったのでしょうか。

広島県立歴史博物館には、草戸千軒の町並みが復元されているんだって！行ってみたいな！



◇広島県立歴史博物館

住所：福山市西町2-4-1 TEL：084-931-2513 H P

◇戦国の庭歴史館

住所：山県郡北広島町海応寺 255-1 TEL：0826-83-1785 H P

※吉川氏城館跡，建築・土木の技術，中世の暮らしなどの資料が展示されています。

◇おのみち歴史博物館

住所：尾道市久保 1-14-1 TEL：0848-37-6555

※尾道遺跡の出土品などが展示されています。

【もっと調べてみよう！郷土の歴史】

民衆が建てた五重塔

～明王院五重塔(福山市)～

中世以前の五重塔は、全国に10基しか残っていないんだって！



草戸千軒のそばに常福寺という寺院がありました(現在の明王院)。そこにある五重塔(国宝)の伏鉢に「積一文勸進小資」，つまり，民衆が少しずつお金を出し合って五重塔を建立したと刻まれています。そして，お金を出した人々の中には，草戸千軒の住人も多くいたと考えられています。

草戸千軒が栄えた中世という時代は，相次ぐ戦乱や不順な気候など不安定な社会で，民衆にとって必ずしも楽に生きられる世の中ではありませんでした。彼らは，常福寺の五重塔にどのような願いを込めたのでしょうか。

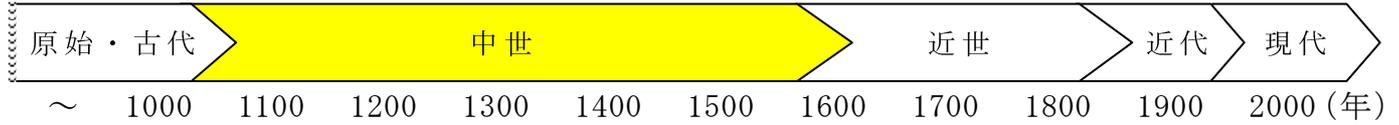


伏鉢(レプリカ)
(広島県立歴史博物館蔵)



明王院五重塔(国宝)

6 戦国大名とひろしま もうりもととなり ~毛利元就~



1 毛利元就とはどのような人物でしょうか？

毛利元就(1497~1571)は、現在の安芸高田市吉田町にあった郡山城を本拠地として、中国地方を統一した戦国大名です。

元就は、安芸国(現在の広島県西部)の国人(地頭や荘官⁽¹⁾)を由来とする地域に根ざした領主)から中国地方のほぼ全域を支配する戦国大名になりました。



毛利元就(毛利博物館蔵)



なぜ、毛利元就は中国地方全域を支配するまでに力をもつ戦国大名になったのでしょうか？

2 毛利元就が支配する前の広島はどのような状況だったのでしょか？

現在の広島県にあたる地域には、安芸国と備後国の二つの国がありました。

右の勢力図を見ると安芸国の毛利氏のまわりには、多数の国人が領地をもっていたことが分かります。

また、この頃、山陰では尼子氏が9か国を支配する戦国大名となり、山陽から九州北部にまたがっては、山口の大内氏が勢力を伸ばしていました。



戦国時代の広島勢力図

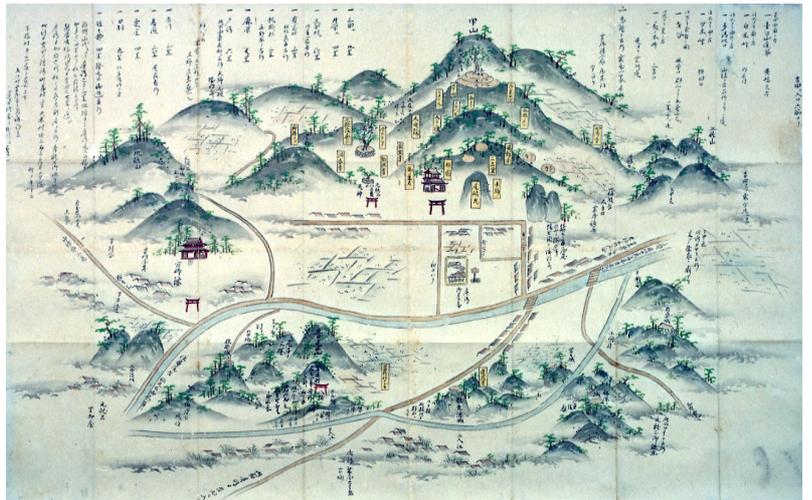
中国地方では、この尼子氏と大内氏が大きな勢力となり、争いを繰り返していました。このため、安芸国や備後国の国人たちは、自分の領地を守るために尼子氏と大内氏の二つの勢力のどちらにつくか選択をせまられ、互いに協力したり対立したりすることを繰り返していました。

3 毛利元就はどのようにして勢力を強めていったのでしょうか？

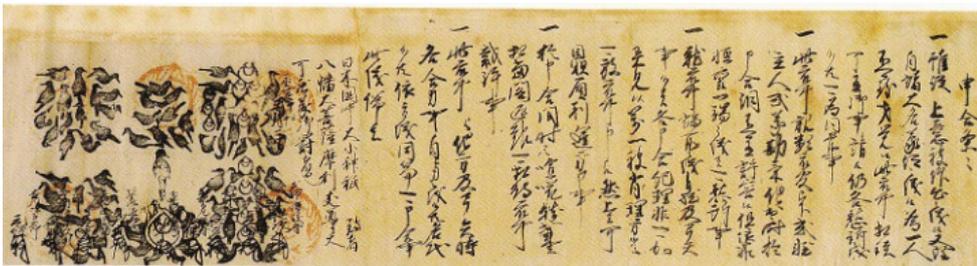
1523(大永3)年、元就は27歳のときに郡山城主になりました。当時、毛利氏は、安芸国の国人の一人で、領地も現在の安芸高田市吉田町周辺のせまい範囲でした。

元就は、北からの尼子氏と南からの大内氏の対立の間にはさまれて悩みますが、安芸国の国人たちと協力して戦うことで、領土・領民を守り、着々と勢力を伸ばしました。

「安芸国衆連署契状」を読むと毛利氏は、周辺の国人たちと対等な関係で契り(約束)を交わし、共同で利益を守り、秩序を維持しようとしていたことがうかがえます。こうした国人連合が素地となって毛利氏が戦国大名になるのです。



郡山城跡下古図(安芸高田市歴史民俗博物館蔵)



安芸国衆連署契状写 天野讃岐守興次 阿曾沼近江守弘 (山口県文書館蔵)

□天野, 毛利, 平賀, 小早川, 阿曾沼, 高橋, 野間, 吉川などの有力な国人たちが、幕府や大内氏などからの要求に結束して対応することや個別の地域紛争を回避することを申し合わせています。

1525(大永5)年、元就は尼子氏から離れて大内氏と手を結び、安芸・備後の軍事を指揮しました。1529(享禄2)年には、尼子氏と組んだ高橋氏を大内氏らと攻め滅ぼします。これにより元就は、高橋氏が果たした安芸と石見の国人連合の主導者の地位と高橋氏の広大な領地を継承します。

この毛利氏を1540(天文9)年、尼子氏は攻撃します。毛利氏は、郡山城にこもって迎え撃つとともに、尼子氏の連絡補給路を絶ち、大内氏や国人らの援助を受け、翌年1月には尼子氏を撃退します。

年	おもなできごと
1497	郡山城で生まれる
1500	兄が毛利家を継ぐ
1511	元服し元就と名のる
1516	兄が亡くなり、兄の子である幸松丸が毛利家を継ぐ
1517	初めての戦いに参加する
1523	幸松丸が亡くなり、毛利家を継ぐ
1525	出雲の尼子氏から離れ、長門・周防の大内氏につく
1529	高橋氏を滅ぼし、地位と領地を継承する
1540	尼子氏に郡山城を攻められる(郡山合戦)
1541	大内氏の援軍を得て尼子氏を撃退する
1544	三男隆景が竹原小早川家を継ぐ
1546	長男隆元に毛利家を譲る
1547	次男元春を吉川家に養子に出す
1549	元春が吉川家を継ぐ
1555	陶晴賢を厳島で破る(厳島合戦)
1557	大内氏を滅ぼし、長門・周防を支配下におく
1563	隆元が亡くなり、孫の輝元が毛利家を継ぐ
1566	尼子氏を滅ぼし、出雲・伯耆を支配下におく
1571	75歳で亡くなる

毛利元就の年表

同年5月には、安芸の守護大名であり、尼子氏に支えられていた武田氏が滅亡すると、広島湾付近にも勢力を拡大していきました。

その後、元就は、瀬戸内海に水軍⁽²⁾を持っていた小早川氏に三男の隆景^{たかかげ}、安芸・石見に勢力を持っていた吉川氏に次男の元春^{もとはる}を養子として送り込み、それぞれの家を継がせました。これにより、元春は山陰のおさえとなり、隆景は瀬戸内海で水軍の統率に活躍^{かつやく}しました。これは「毛利の両川体制^{りょうせん}」と呼ばれ、毛利氏が繁栄するための基礎^{きそ}となりました。



吉川元春館跡(北広島町教育委員会提供)
□吉川元春の館の石垣です。



高山城跡と新高山城跡(三原市教育委員会提供)
□右が小早川氏の城であった高山城跡です。
□左が小早川氏を継いだ隆景がつくった新高山城跡です。

元就は、大内氏から離れ、広島湾の大内方の城を奪うとともに、政治・経済・宗教・軍事上の拠点となっていた厳島を占領しました。一方、大内氏の当主義隆は、重臣の陶晴賢に倒され、大内氏の実権は陶氏が握りました。元就は、厳島の奪回を試みる陶氏に対して、厳島の城(宮尾城)を改修して戦いに備えると、1555(弘治元)年9月、陶氏と厳島で戦って勝利しました(厳島合戦)。

その後、元就は、1557(弘治3)年に山口の大内氏を滅ぼし、ついで1566(永禄9)年には山陰の尼子氏を滅ぼしました。そして、中国地方のほぼ全域を支配する日本屈指の戦国大名にのしあがりました。

元就の死後は、孫の毛利輝元が叔父の吉川元春と小早川隆景に支えられ、毛利家の繁栄を守りました。

毛利元就が戦国大名になった経緯や理由について、調べたことや考えたことをもとに自分の言葉でまとめてみましょう！



【注】

- (1) 荘園領主が、年貢の取り立てや荘園の管理のために任命した役人
- (2) 海上の戦闘を行う軍隊や兵力、海賊。毛利水軍は、武田氏の水軍をもとに、小早川水軍、村上水軍などを取り込み、次第に兵力を強めた。

【もっと調べてみよう！郷土の歴史】

- 毛利元就の教えといわれる「三矢の訓」や「百万一心」について調べてみよう！
 - ・「三矢の訓」の由来といわれる「三子教訓状」とは、どのようなものでしょうか。
 - ・「百万一心」とは、どのような話でしょうか。
- 毛利元就の子どもである吉川元春や小早川隆景について調べてみよう！
 - ・吉川元春館跡の発掘調査でどのようなものが発見されたのでしょうか。
 - ・小早川隆景の水軍や瀬戸内の水軍はどのような働きをしたのでしょうか。
- 毛利氏と織田信長や豊臣秀吉との関連について、調べてみよう！
 - ・織田信長が石山本願寺を攻撃した際、毛利氏はどのように行動したのでしょうか。
 - ・豊臣秀吉が天下統一を行った後、毛利氏は秀吉のもとでどのような役割を果たしたのでしょうか。

毛利元就の子どもの吉川元春や小早川隆景について調べてみてもおもしろそうだな。



◇安芸高田市歴史民俗博物館

住所：安芸高田市吉田町 278-1 TEL：0826-42-0070 H P

※原始から近世の歴史，特に中世では毛利元就の資料が多く展示されています。

◇戦国の庭歴史館

住所：山県郡北広島町海応寺 255-1 TEL：0826-83-1785 H P

【もっと知りたい！郷土の歴史】

サンフレッチェ広島と毛利元就 ～三矢の訓～

サッカーチーム「サンフレッチェ広島」の名前の由来を知っていますか。「サンフレッチェ」は、日本語とイタリア語を組み合わせた言葉で、日本語の「三(サン)」とイタリア語の「矢(フレッチェ)」を合わせて作った造語で、「三本の矢」という意味です。



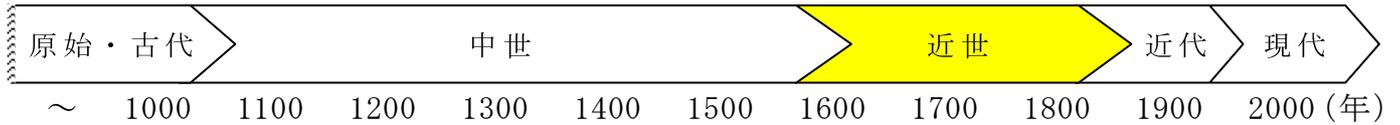
「三本の矢」とは、「三矢の訓」が起源となっています。これは、毛利元就が子どもたち(隆元，元春，隆景)に「今までのように三家がまとまっていれば，国中から足元をすくわれることはないよ」と，兄弟が仲良くするよう説いた長文の手紙を書いたことに由来しています。この手紙が「一本の矢は折れやすいが，三本重ねれば折れない」という「三矢の訓」のもとになりました。

元就が子どもたちに宛てたこの手紙を「三子教訓状」といいます。元就は，この手紙で次のようなことを記しています。一つ目は，毛利家や毛利家を継いだ隆元を第一に考え，兄弟が力を合わせる事。二つ目は，なくなった妻や娘への思い，乱世にあっての自分の心境や信仰に関する事など元就の気持ちについてです。元就は，その他にも，どのようなことを手紙に書いたのか，調べてみましょう。

サンフレッチェ広島の名前から毛利元就と関係していたんだ！みんなは広島東洋カープの名前の由来って知ってる？



7 幕藩体制とひろしま ～広島城と城下町～



1 広島城はいつ頃つくられたのでしょうか？

中国地方を代表する都市広島市の中心部には、「鉄砲町」といった町名や「京口門」というバス停など、城下町であったことを示す地名を見つけることができます。



広島城

広島は、1589(天正17)年、中国地方112万石を支配する大名毛利輝元が山城だった郡山城から山陽道に近く、海に向かって開けた広島の地に城を築いたことに始まります。

1600(慶長5)年の関ヶ原の戦いで勝利した徳川氏が江戸幕府を開き、広島は江戸時代を通じて広島城の城下町として発展しました。



広島城の城下町は、どのようにつくられていき、どのような人々が暮らしていたのでしょうか？

2 福島氏はどのような藩をつくろうとしたのでしょうか？

関ヶ原の戦いの後、毛利氏に代わって安芸国・備後国の大名となったのが福島正則です。

正則は、毛利輝元が築いた広島城を本拠地とするとともに、神辺城と三原城に重臣をおき、新たに小方に亀居城、三次に尾関山城、東城に五品嶽城、鞆に鞆城を築いて、戦時に備えました。

また、正則は、1601(慶長6)年に領内の検地を実施し、家臣に領地を与えました。この検地によって「村」と石高を確定し、「村」を庄屋などの村役人に治めさせ、石高に基づいて年貢を徴収させる仕組みを整えました。「村」は、百姓が年貢を納めるところとされました。

さらに、広島城の城下町や宮島、尾道などを、商工業者の活動地域である「町」と定め、「村」とは区別し、武士、農民、町人の分離を進めました。城下町に



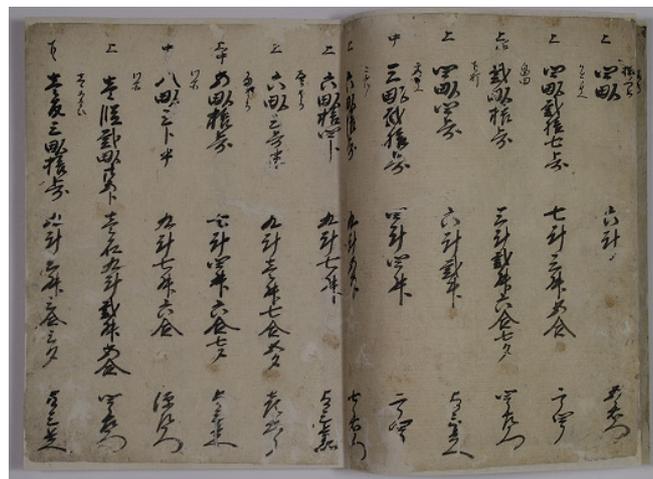
広島城と福島氏の支城

◎一国一城令で残された城

▲一国一城令で破却された城

ついでには、西国街道を広島城下の中心部に引き入れ、その沿道を中心に65もの町人町を整備しました。

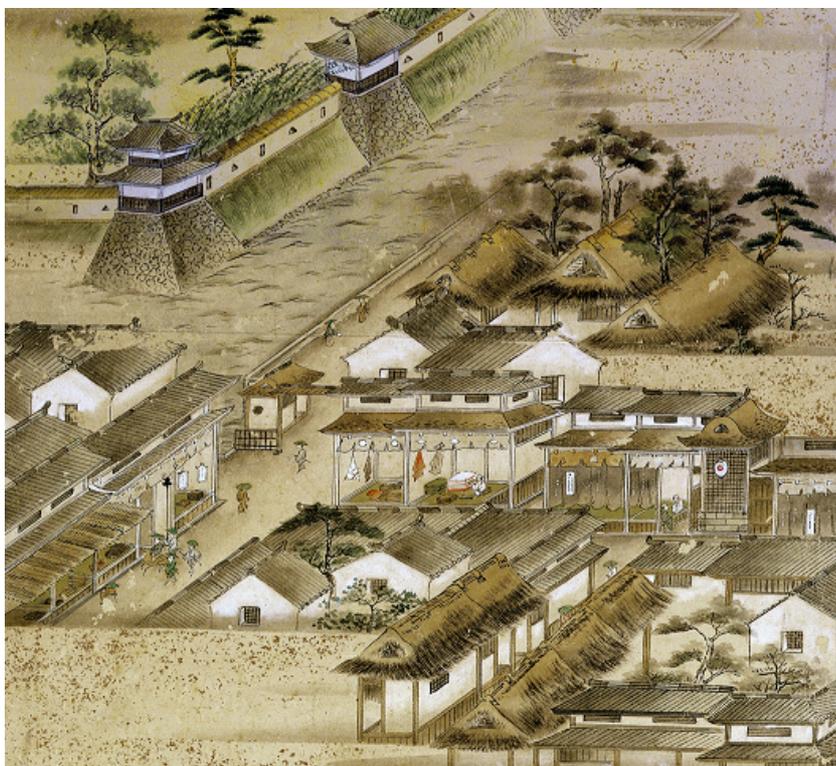
一方で、1615(元和元)年に幕府が出した一国一城令で、広島城と三原城以外の城は破却されました。また、1619(元和5)年には、前々年の洪水で壊れた広島城の石垣を幕府に無断で修復したという理由で、武家諸法度違反の罪を問われ、福島氏は改易(所領没収)となりました。



慶長六年安芸国佐西郡伏谷上村検地帳
(広島城蔵)

□現在の広島市佐伯区にあった村の検地帳です。

3 浅野氏は広島城の城下町をどのようにつくっていったのでしょうか？



「広島城下絵屏風」(部分)(広島城蔵)
□次のページの絵図のどの部分にあたるでしょうか。

広島城に福島氏の後に入城したのが浅野氏です。

浅野氏は外様大名ですが、徳川家とは婚姻による親戚関係にあり、二代藩主光晟は家康の孫にあたります。浅野氏が支配する広島藩は、石高42万6000石余の全国でも指折りの大藩でした。

江戸時代の広島城の城下町には多くの武士や町人が暮らしていました。福島正則が城下町建設を始めた時に、同一地域に同一職種の町人を住まわせる政策を取ったため、研屋町、鉄砲屋町などの町名が見られます。西国街道沿いは商業が発展

し、やがて「本通り」と呼ばれるようになりました。

江戸時代前半期、特に17世紀は「開発の世紀」で、新田開発が積極的に推進され、太田川河口デルタの広島城下でも干拓により、国泰寺村、船入村、大須賀新開、比治村、仁保島新開、江波新開などが開発されました。

4 江戸時代の広島城の城下町はどのような町だったのでしょか？

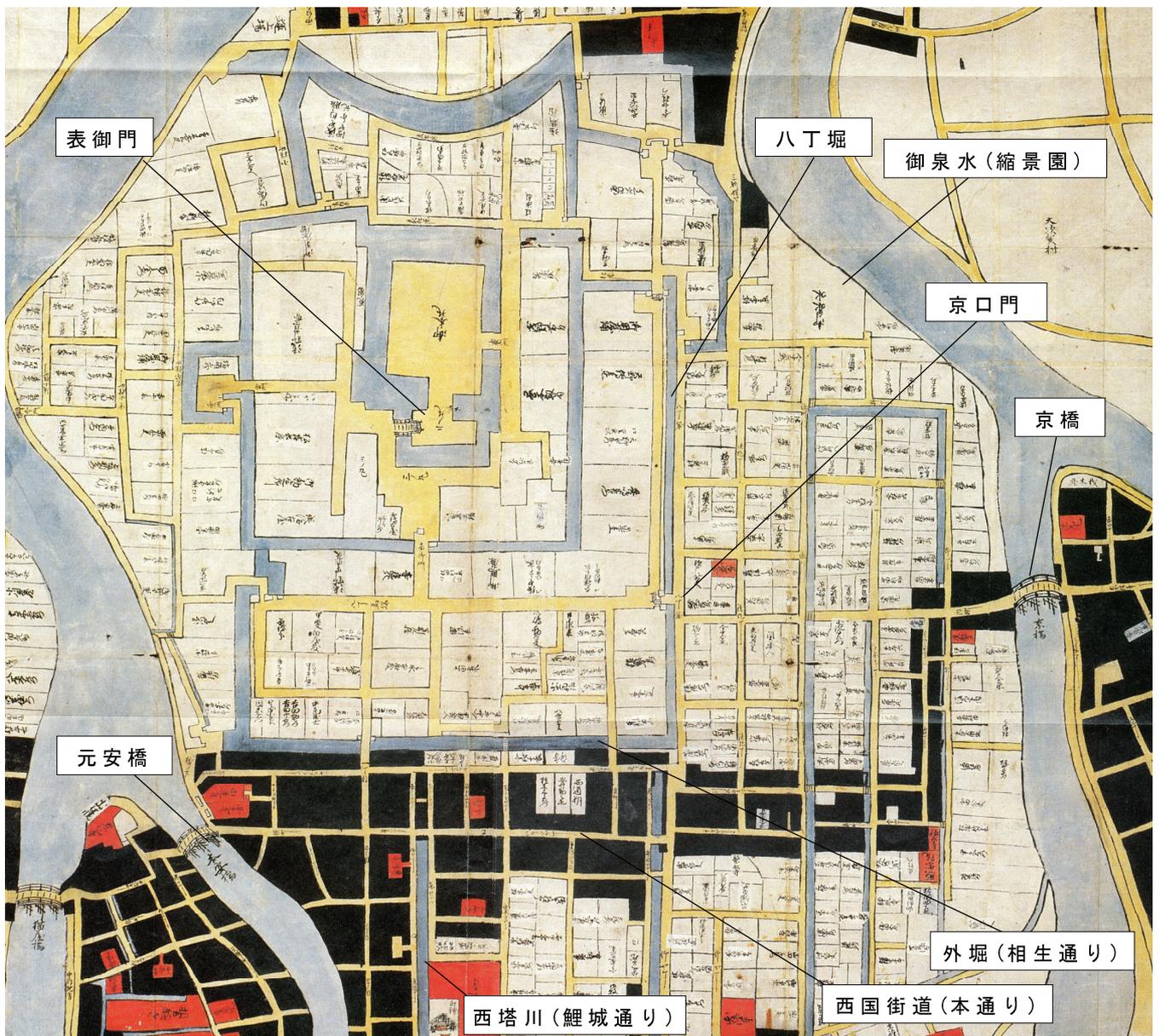
次のページの絵図は、1700(元禄13)年頃の広島城下の絵図です。中央上の黄色の部分広島城本丸と二の丸です。

二の丸の西側には御門橋と表御門も描かれています。また、城の右手、川沿いには、御泉水(現在の縮景園)が描かれています。

城の周囲の白く区割りされた部分は、武士の暮らす武家屋敷で、城を取り囲む形で配置され、武家町を形成していました。身分によって、藩から与えられた屋敷地の広さが異なり、堀の内側には上級武士が住んでいました。

城の南側には西国街道が通り、その両側は町人町とされました。絵図では黒で表されています。西国街道は現在の本通りにあたり、猿猴橋から京橋を通過して、さらに元安橋を渡ります。町人町には町奉行の支配のもと、町年寄などによる自治的な組織が置かれました。

現在の地名や道路名と比べると、八丁堀は、広島城の東側の外堀の長さが八丁(一丁は約109m)だったことに由来しています。また、現在路面電車の通る相生通りは広島城の南側の外堀、鯉城通りは西塔川と呼ばれる運河でした。



「広島城城下町絵図(正徳年間)」(部分)(広島城蔵)

広島城の城下町はどのようにつくられていったのか、調べたことや考えたことをもとに自分の言葉でまとめてみましょう！



【もっと調べてみよう！郷土の歴史】

- 広島城の城下町を歩いて調べてみよう！
 - ・現在の広島には、江戸時代の頃のどのような地名が残っているのでしょうか。
 - ・現在の広島には、江戸時代の様子を表すものは何が残っているのでしょうか。
- 福山城の城下町について調べてみよう！
 - ・福山城の城下町は、いつ、誰が、どのようにしてつくっていったのでしょうか。
 - ・福山城の城下町には、どのような人々が暮らしていたのでしょうか。
- 身近な地域の江戸時代の町並みについて調べてみよう！
 - ・身近な地域には、江戸時代の様子を表わすものは何が残っているのでしょうか。

◇広島城

住所：広島市中区基町21-1 TEL：082-221-7512 H P

※広島城や広島藩に関する実物の資料や模型などが展示されています。

◇福山城博物館

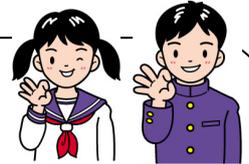
住所：福山市丸之内1-8 TEL：084-922-2117 H P

※福山藩の歴代藩主の遺品や備後の歴史と文化に関する資料が展示されています。

【もっと知りたい！郷土の歴史】

現代と江戸時代の広島を比べてみよう
～広島城下大絵図～

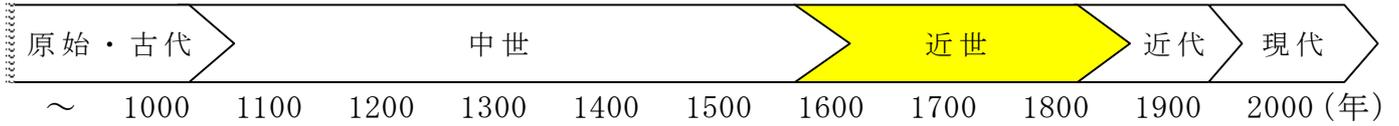
現在の広島市の地図に江戸時代の地図を重ねているよ。比べてみるとおもしろいね！



広島城下大絵図(部分)(広島市中区役所地域起こし推進課作成)

8 鎖国下の外交とひろしま ～朝鮮通信使～

ちょうせんつうしんし



1 朝鮮通信使とはどのようなものだったのでしょうか？



朝鮮人來朝覚備前御馳走船行烈図 (部分) (松濤園 御馳走一番館蔵)
 □上の絵は、瀬戸内海を航行した朝鮮通信使の岡山沿岸での様子を描いたものです。

朝鮮通信使は朝鮮王朝が室町時代から江戸時代にかけて日本に派遣した外交使節団です。通信とは「信(よしみ)」を「通(かよ)」わす(友好を深める)という意味で、通信使には外交課題を解決する役目がありました。

江戸時代になると、家康は幕府の支配の安定と權威を高めることを目的に朝鮮通信使の再開を望んだため、1607(慶長12)年から再び朝鮮通信使が派遣されるようになりました。

江戸時代の朝鮮通信使は、徳川家の将

年	目的
1607	日朝国交回復, 朝鮮出兵の捕虜返還
1617	国内平定祝賀・捕虜返還
1624	家光の将軍就任祝賀, 捕虜返還
1636	泰平(世の中の平和)祈願
1643	家綱誕生祝賀, 日光東照宮落成祝賀
1655	家綱の将軍就任祝賀
1682	綱吉の将軍就任祝賀
1711	家宣の将軍就任祝賀
1719	吉宗の将軍就任祝賀
1748	家重の将軍就任祝賀
1764	家治の将軍就任祝賀
1811	家斉の将軍就任祝賀(対馬で対応)

江戸時代に来日した朝鮮通信使

軍就任に際して派遣され、12回を数えました。広島県では、下蒲刈の三之瀬(呉市)や鞆(福山市)に停泊しており、当時の記録から、通信使や接待の様子をうかがうことができます。



江戸時代の朝鮮通信使は、なぜ、下蒲刈の三之瀬や鞆に停泊したのでしょうか？また、その時どのような交流が行われていたのでしょうか？

2 朝鮮通信使はどのような経路を通過していたのでしょうか？

使節は、漢城(現ソウル)から陸路で釜山に向かい、そこから船で対馬・壱岐を経由して下関にやってきました。

下関からは瀬戸内海を通過して大阪の淀川の河口まで進み、淀川を川船で北上して京都に入り、京都からは東海道を陸路で江戸へ向かいました。



朝鮮通信使の航路

3 なぜ、下蒲刈の三之瀬に停泊したのでしょうか。また、その時の様子はどうだったのでしょうか？

下蒲刈の三之瀬は、古くから瀬戸内海航路の重要な港として栄えていました。江戸時代には広島藩唯一の海駅となり、岸に長雁木(階段状の構造物)を備えた船着場が整備されました。

通信使が到着すると、礼砲を撃ち、棧橋では正装した家老や藩士が丁重に出迎えました。棧橋から宿舎までの約50mにオランダ製の赤い羊毛のフェルト(緋毛せん)を約200枚敷き、金屏風100枚や欄干で豪華に飾りました。

暗くなると、多くの提灯のあかりで通路を照らしました。その様子は「燈火が水に輝くのは、あたかも星がきらめくようであった」と言われています。

さらに、通信使一行を驚かせたのは歓迎の料理でした。儀式用として、朝と夕には、七五三の膳、昼には五五三の膳が出され、当時としては最高のもてなしの料理がふるまわれました。また、普段の夕食として、三汁十五菜の膳が出されました。この料理には、きじ・豚・猪・鹿・鶏・鴨の肉類、鯛・すずき・たら・さけ・ひらめ・あわび・するめなどの魚介類、さらに新鮮な野菜など多くの食材が使われました。この素晴らしい



七五三の膳の復元模型の一部
(松濤園 御馳走一番館蔵)
□全部で32あるうちの3つです。



三汁十五菜の膳の復元模型
(松濤園 御馳走一番館蔵)

料理と接待に対して、「安芸蒲刈御馳走一番」と通信使は記録しています。

広島藩は、12回の朝鮮通信使来日のうち、11回の往復路での接待を三之瀬で行うように幕府から指示されました。それに伴い、港の整備や宿舎の改善などを手がけ、豪華な接待をし、あやまちのないように迎えました。また、三之瀬の寺や主な民家は宿舎として使用され、三之瀬の住民はこの間、近隣の村々に移動を強いられました。藩が通信使接待のために動員した人数は、武士・町人・村々の百姓を含め1200人ほど、使用した費用は金で約2万両(米の値段で現在の価値に換算すると約8億円)と言われ、沿岸の村々も多額の出費を求められました。藩にとっても、村にとっても大きな負担となっていました。

4 なぜ、鞆に停泊したのでしょうか？

鞆は、瀬戸内海の航路の中間点に位置し、潮の流れの分岐点にあたる場所です。「潮待ちの港」と言われ、湾内は穏やかで、古くから重要な港でした。江戸時代も港町として栄え、通信使一行の寄港地としても利用されました。

鞆での接待は多くの場合、福山藩の役目(1748年と1764年は他藩が担当)でしたが、他の寄港地同様に鞆にある寺や船問屋などの商人たちも接待に協力を求められました。中でも海のそばの崖の上にあり、通信使三使(正使・副使・従事官)の宿舎として利用された福禅寺から見る景色の美しさについては、代々の通信使の記録に残されています。

1711(正徳元)年の通信使の一人であった李邦彦は、道中で一番の風景であるとして福禅寺からの風景を「日東第一形勝」と評し、筆をとりました。その書は、菅茶山の呼びかけで額に彫られ、福禅寺の対潮楼に掲げられています。



福禅寺(福山市)

□鞆の浦にある寺で、通信使の主だった人たち(通信使三使=正使・副使・従事官)の宿泊所にあてられていました。



日東第一形勝の拓本(広島県立歴史博物館蔵)

□菅茶山(→P38)がつくらせた額から刷ったものです。

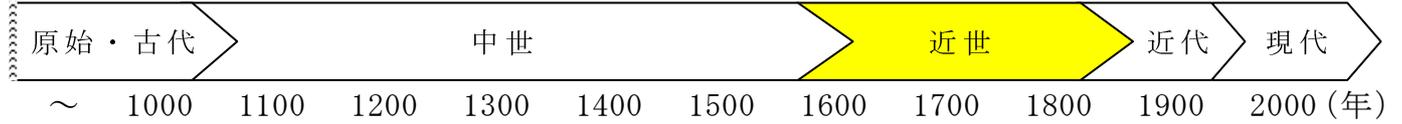
5 朝鮮通信使とどのような文化交流があったのでしょうか？

当時の日本の学者や知識人は、儒学や中国の歴史や書物を中心的な学問として学び、それらの知識を基に漢詩を読むことをたしなみとしていました。朝鮮の知識人も同様で、日本の儒学者たちは朝鮮の知識人からより多くを学びとろうと、江戸や京・大阪で、漢文で筆談し漢詩を読みあうといった交流を行いました。通信使は寄港地でも交流を深め、鞆では福山藩や近隣の学者たちが漢文で筆談をしたり、漢詩を読みあったりして交流するのが慣例となっていました。一方、広島藩の三之瀬ではあまり積極的に文化交流をもたなかったようで、福山藩のような交流の形跡はみられません。

しかし、1764(宝暦14)年の通信使では、三之瀬の次に寄港・滞在した忠海(竹原市)で、頼山陽(→P39)の父で竹原出身の頼春水とその弟、春風・杏坪の三兄弟が朝鮮通信使の一行と交流を持ちました。これは、公式なものではなく、

9 江戸時代の文化とひろしま ～菅茶山と頼山陽～

かんちやざん らいさんよう



1 江戸時代に活躍した広島の人にはどのような人物がいたのでしょうか？

江戸時代後半，江戸を中心に化政文化が栄えました。この時期に活躍し，大きな功績を残した郷土の人物として，菅茶山と頼山陽がいます。



菅茶山と頼山陽は，どのような人物で，どのような功績を残したのでしょうか？

2 菅茶山はどのような人物だったのでしょうか？

菅茶山(1748～1827)は，現在の福山市神辺町で酒造業を営む家に生まれました。

19歳の時に京都で儒学を学び，1781(天明元)年頃，神辺に黄葉夕陽村舎という塾を開きました。この塾は1796(寛政8)年に福山藩に認められ，以後は「廉塾」または「神辺学問所」と呼ばれました。

やがて茶山は，福山藩主にその力を認められて福山藩の儒学者となり，福山藩校「弘道館」(後の誠之館)でも教えています。茶山は，漢詩^①人としても優れた才能を発揮し，全国にその名を知られた人物で，多くの文化人が茶山のもとを訪れました。



菅茶山肖像画
(広島県立歴史博物館蔵)

3 なぜ，菅茶山は教育に力を注いだのでしょうか？

当時の神辺は，山陽道の宿場町として栄えていましたが，教育は十分に普及していませんでした。茶山は，神辺をもっとよい町にするには教育が必要だと考え，塾を開いたのでした。

茶山の豊富な知識や温厚な人柄にひかれ，全国から様々な人々が集まり学びました。茶山は，塾生のことを「学種」と呼び大切にしました。学費が払えない塾生には，生活の面倒をみながら学ばせています。

茶山が育てた「学種」が地元や全国各地に巣立ち，教育や学問を担う人材として大きく成長したのでした。



茶山の廉塾で学ぶ様子(菅波信道一代記より)
(個人蔵・広島県立歴史博物館提供)

4 菅茶山はどのような功績を残したのでしょうか？

幕府の大学頭^{だいがくのかみ}(2)の林述斎^{じゆつさい}は、「日本一の漢詩人は菅茶山である」と述べています。代表作の詩集「黄葉夕陽村舎詩」は、いきいきとした表現で多くの人々に読まれ、大ベストセラーとなりました。神辺の豊かな自然^よを詠んだ詩も多く残っています。

茶山の名声は全国に広まり、伊能忠敬^{いのうただたか}は、測量のために立ち寄った神辺で茶山と会い親交を深めています。また、福山藩主阿部正精^{あべまさきよ}直属の教授として江戸に赴任^{ふにん}した際には、茶山を高く評価していた松平定信^{まつだいらさだのぶ}(寛政の改革^{かかく}を行った老中)に招かれ交流しました。茶山は神辺に深い愛着を持ち、教育の普及^{ふききゆう}に尽力するとともに、神辺から優れた文化を全国へ発信した文化人でした。



「黄葉夕陽村舎詩」(菅茶山記念館蔵)

「所見」(黄葉夕陽村舎詩)
 〈原文〉
 落日残紅在
 新秧嫩翠重
 遥雷何処雨
 雲没兩山峰
 〈現代語訳〉
 夕日沈んだ
 田んぼの若苗
 遠くで雷
 山のとっぺん
 雲の中
 空まだ赤い
 萌え重なって
 どこかで雨が
 雲の中
 雲は没する兩山峰
 遙雷何れの処の雨ぞ
 新秧嫩翠重なる
 落日残紅在り
 落日残紅在り
 新秧嫩翠重なる
 遥雷何れの処の雨ぞ
 雲は没する兩山峰

□神辺のどのような光景を読んでいますか？

5 頼山陽はどのような人物だったのでしょうか？

頼山陽(1780~1832)は、竹原出身の儒学者頼春水の子として大阪で生まれました。1781(天明元年)年、春水が広島藩校の儒学者として招かれたため、山陽も広島に移り住み、約30年間を現在の広島市で過ごしました。

21歳の時に脱藩騒動を起こして京都へ出向きましたが、連れ戻され広島の屋敷で5年間の謹慎生活を送りました。この期間に『日本外史』の作成にとりかかり、原型を書き上げています。

謹慎をとかれた山陽は、父春水と交友のあった菅茶山の「廉塾」に招かれます。しかし、都会に出て学問することをあきらめることができず、1811(文化8)年に「廉塾」を去り京都に旅立ちます。京都の地で塾を開き、懸命に学問に励み、ついに『日本外史』を完成させました。



頼山陽肖像画
 (頼山陽記念文化財団蔵)

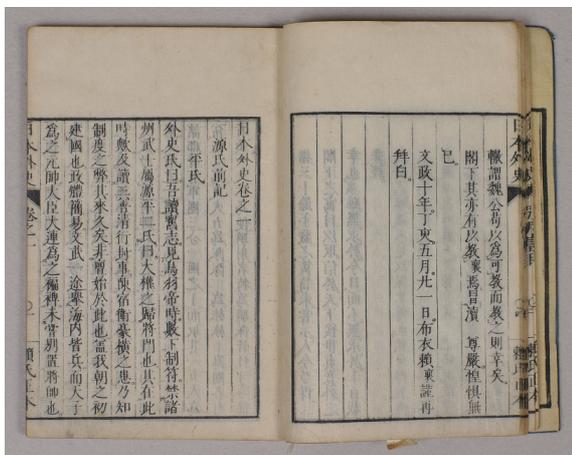
頼山陽が十四歳の時に作った詩
 〈原文〉
 十有三春水
 逝者已如水
 天地無始終
 人生有生有死
 安得類古人
 千載列青史
 〈現代語訳〉
 十三年の歳月が過ぎてしまった
 過ぎ去った時は戻らない
 無限の宇宙に比べて
 人の命には限りがある
 どうか、昔の偉人や賢者のように
 永久に歴史に残る人物になりたい

□少年の山陽は、どんな目標をたてていますか？

6 なぜ、頼山陽は「日本外史」を書いたのでしょうか？

江戸時代後半は、学問の研究がさかんになり、様々な本が出版されました。日本の歴史については、徳川家の一つである水戸藩において、藩主の徳川光圀が始めていた『大日本史』の編纂へんさんが続けられていました。そのような中で、山陽は、民間の人物として日本の歴史を本にまとめようと『日本外史』を書くことを決心しました。山陽は約25年の歳月ついでを費やし、「汝なんじ、草木と同じに朽ちんと欲するか」（お前は草木と同じように朽ち果てていいのか）と自分を励ましながらか、寝る間を惜しんで執筆しつひつや読書にいとせしみ、努力を積み重ねました。

1826(文政9)年に『日本外史』(全22巻)は、ついに完成しました。『日本外史』は、歴史上の出来事をその場に居合わせるような臨場感のある文章で表現され、大ベストセラーになりました。多くの藩校で教科書のように使用され、幕末に大きな影響えいきょうを与える本となりました。吉田松陰よしだしょういんや坂本竜馬さかもとりょうまも『日本外史』を読み、その影響を受けています。



『日本外史』
(頼山陽記念文化財団蔵)

〈原文・読み下し文〉
 (前略)夜、大江山を度り、老坂に至る。右折すれば則ち備中に走くの道なり。光秀乃ち馬首を左にして馳す。士卒驚き異しむ。既に桂川を渉る。光秀乃ち鞭を挙げて東を指し、颺言して曰く、「吾が敵は本能寺に在り」と。
 『日本外史(中)』岩波文庫より抜粋

〈現代語訳〉
 (前略)夜、大江山を越え、老坂に着いた。ここから右に折れると備中に行く道となる。ところが光秀は馬首を左にして駆けだした。兵たちは驚き怪しんだ。そうするうちに桂川を渡ってしまった。光秀はそこで鞭を挙げて東の方を指さし、声高らかに言った。
 「わが敵は本能寺にあり」

□聞き慣れた語句はありませんか？

7 頼山陽はどのような功績を残したのでしょうか？

山陽は文学や芸術の分野でも活躍しています。武田軍と上杉軍が戦った川中島の合戦

を題材にした「鞭声べんせい粛々」の詩は、後世でも多くの人々に親しまれました。書家としても活躍かつやくし、多くの傑作を残しています。また、「耶馬溪やばけい凶卷」などの優れた水墨画すいぼくがも描いています。山陽は、高い志を持って名をあげ、後の社会にも大きな影響を及ぼした化政文化を代表する文化人でした。

菅茶山と頼山陽はどのような人物だったのか、調べたことや考えたことをもとに自分の言葉でまとめてみましょう！



【注】

- (1) 中国の伝統的な詩。また、その形式を取り入れて日本で作られた詩のこと。一句が四言(文字)、五言(文字)、七言(文字)からなるのが一般的。
- (2) 江戸幕府が運営する昌平坂学問所の長官のこと。

【もっと調べてみよう！郷土の歴史】

- 江戸時代の学問や教育について調べてみよう！
 - ・菅茶山と交流のあった文化人には、どのような人物がいたのでしょうか。
 - ・江戸時代にはどのような塾や学校がつくられ、どのような学問が教えられていたのでしょうか。
- 幕末の動きに影響を与えた学問について調べてみよう！
 - ・頼山陽の『日本外史』は、幕末の動きにどのような影響を与えたのでしょうか。
 - ・幕末の動きに影響を与えた江戸時代の学問には、どのようなものがあり、どのような影響を与えたのでしょうか。
- 身近な地域の教育や学問について調べてみよう！
 - ・身近な地域で江戸時代に活躍した文化人には、どのような人がいるのでしょうか。
 - ・身近な地域でつくられた塾や学校には、どのようなものがあるのでしょうか。

菅茶山は、松平定信や伊能忠敬のほかにも交流した文化人がいたらしいよ。



◇菅茶山記念館

住所：福山市神辺町大字新湯野 30-2 TEL：084-963-1885 HP

※菅茶山をはじめとする文人や神辺の画家・書家たちの作品が展示されています。

◇頼山陽史跡資料館

住所：広島市中区袋町 5-15 TEL：082-542-7022 HP

※頼山陽や江戸時代の広島歴史と文化に関する資料が展示されています。

【もっと知りたい！郷土の歴史】

頼山陽から学ぶこと ～12歳の「^{りっしるん}立志論」～

頼山陽は、僕たちと同じくらいの年のときには学ぶことについてしっかり考えていたんだね。僕も努力することを大切にしていこう！



頼山陽は、幼い頃から学問に優れ、詩や文章にも才能を発揮しました。12歳の時には「立志論」という文章^{あらわ}を著しました。その冒頭で次のように述べています。

「男児学ばざれば則^{すなわ}ち已む。学ばば当^{まさ}に群^こを超ゆるべし」

(男子たる者、学ばなければそこで終わってしまう。学ぶことによって始めて人々より抜きん出ることができる。)

その言葉どおり、頼山陽は学び続けながら『日本外史』をはじめとする著作を完成させるための努力を最後まで惜しみませんでした。

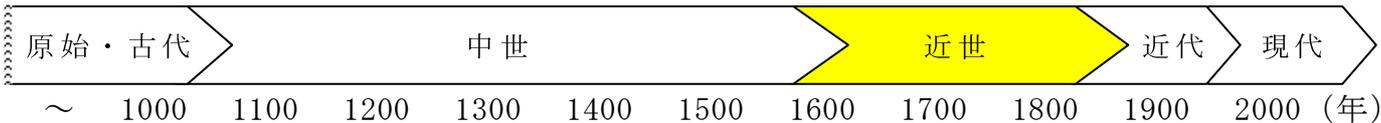
山陽の死後、弟子であった江木鰐水^{えぎがくすい}(福山藩儒官^{じゅかん})が、山陽の生前の事績^{じせき}を「山陽先生行状」にまとめました。その中で、鰐水は生前の山陽が語った言葉として次のように書いています。

「我を才子と謂うは、いまだ我を悉^{つく}さざる者なり。我をよく刻苦^{こつく}すと謂う者は真に我を知れり」

(私を天才だという者は、私をよく知らない者だ。私をよく刻苦^{こつくべんれい}勉勵するという者は、私を真に知っている者だ。)

歳月は水のように流れ去っていくことを自覚することで、毎日を実りあるものにすることができます。頭ではわかっているけど、私たちはつい楽な方に流されてはいませんか。絶えず自分を奮い立たせて努力しなければ、そのまま年老いて朽ち果てていくだけです。努力し続けることの大切さを、頼山陽は私たちに教えてくれているのではないのでしょうか。

10 江戸幕府の衰退とひろしま ～阿部正弘～



1 阿部正弘とはどのような人物だったのでしょうか？

「泰平の眠りをさます上喜撰 たった四杯で夜も眠れず」という狂歌は、1853(嘉永6)年のペリー艦隊の来航に対する日本の動揺を詠んだものです。

この翌年の1854(嘉永7)年に日米和親条約を結び、開国への道を決定した人物が、福山藩主で当時老中だった阿部正弘(1819～1857)という人物です。

正弘は、1843(天保14)年に25歳で老中に就任し、2年後には、老中首座(4～5人いる老中の第一番の地位)に就任しました。正弘はその生涯のほとんどを江戸で過ごしましたが、1836(天保7)年に福山藩主となり、その翌年に一度だけ国元である福山藩に帰っています。正弘は福山藩主として、現在の広島県立福山誠之館高等学校の前身となる福山藩の藩校「誠之館」を創るなど、藩政改革も進めました。



阿部正弘
(福山誠之館同窓会蔵)



阿部正弘は、開国にあたってどのように考え、どのようなことをしたのでしょうか？

2 阿部正弘は老中として、ペリーの開国要求にどのように対応したのでしょうか？

正弘は、ペリーの最初の来航で受け取ったアメリカの国書に訳文を添えて朝廷に報告しました。そして、親藩や外様大名は幕府の政治に口出しをさせないというそれまでのやり方を変え、親藩・譜代・外様を問わず諸大名に意見を求めました。さらに、幕臣、大名の家臣、一般の人々にも意見を求めた結果、意見は700余り集まりました。

また、越前藩主の松平慶永(親藩)や薩摩藩主の島津斉彬(外様大名)などと連携し、さらに前水戸藩主である徳川斉昭を外交や

年	おもなできごと
1845	幕府は海防掛を設置する。
1853	ペリー艦隊が浦賀に来航する。(6/3) 浦賀奉行がアメリカ国書を受け取る。(6/9) 幕府はペリー来航を朝廷に上奏する。(6/15) 阿部正弘が諸大名、幕臣らにアメリカの要求について意見を求める。(7/1) 品川沖台場の建造を始める。(8/24) 幕府は大船建造の禁を解く。(9/15)
1854	ペリー艦隊が再び来航する。 幕府、日米和親条約を調印する。
1855	幕府は長崎に海軍伝習所を設立する。
1856	幕府は講武所を開講し、武術訓練を行う。
1857	幕府は蚕書調所を開講し、洋学教育研究を行う。

開国の頃の主なできごと(月日は旧暦)

国防問題を担当する海防掛参与として幕政に参画させ、この困難を乗り越えようとした。しかし、決定的な意見は得られず、外国船は受け入れるが、通商はしないという方針を決定し、日米和親条約を結びました。

また、正弘は広く意見を聞くとともに、出身藩や身分を問わず有能な人物であれば積極的に幕府の要職に登用していきました。その一人に江川英龍がいます。江川英龍は蕪山代官でしたが、海防掛に登用されました。江川英龍は正弘に命じられて、品川沖に台場(砲台)を築きました。中浜万次郎(ジョン万次郎)や勝海舟など、多くの人物が阿部正弘に見出され活躍しました。



長崎海軍伝習所絵図(財団法人鍋島報効会蔵)

さらに、正弘は、海防の強化のため、西洋砲術を奨励したり、大船建造の禁を解いたりしました。このことにより、幕府自ら洋式の軍艦である鳳凰丸を建造し、水戸藩には旭日丸を建造させました。薩摩藩は、建造した昇平丸を幕府に献上しました。

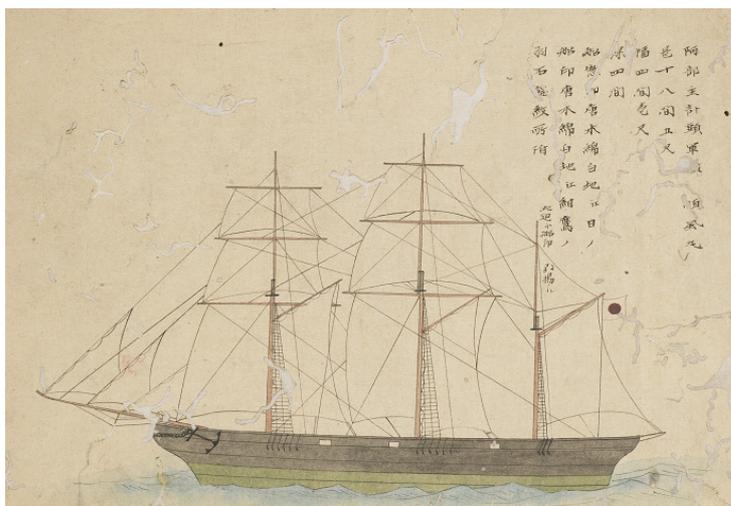
開国後は、海軍士官を養成するための「海軍伝習所」、洋学を教育研究するための「蕃所調所」、剣術や砲術などを学ぶ「講武所」

など、外国に対抗できる有能な人材を育てるための教育機関を設置しました。

阿部正弘が行った、先例に縛られない積極的な人材登用や国防政策は「安政の改革」と呼ばれます。一方で、開国要求に対し、朝廷に報告を行ったことや諸大名や幕臣などに広く意見を求めたことは、結果として朝廷の権威を高め、諸大名の幕府政治に対する発言権を強めていくことになりました。

3 阿部正弘は福山藩主として、どのようなことをしたのでしょうか？

正弘は、福山藩の洋式帆船の建造を計画し、中浜万次郎にその模型をつくらせています。その船は、正弘の死後、1862(文久2)年に「順風丸」として完成しました。また、長崎海軍伝習所に福山藩から伝修生を送りました。江川英龍の蕪山塾にも藩士を送り、西洋砲術を学ばせ、西洋技術を積極的に導入しようとした。



福山藩軍艦・順風丸(「明治維新当事諸藩艦船図」)
(東京大学駒場図書館蔵)

それまで福山藩には漢学の

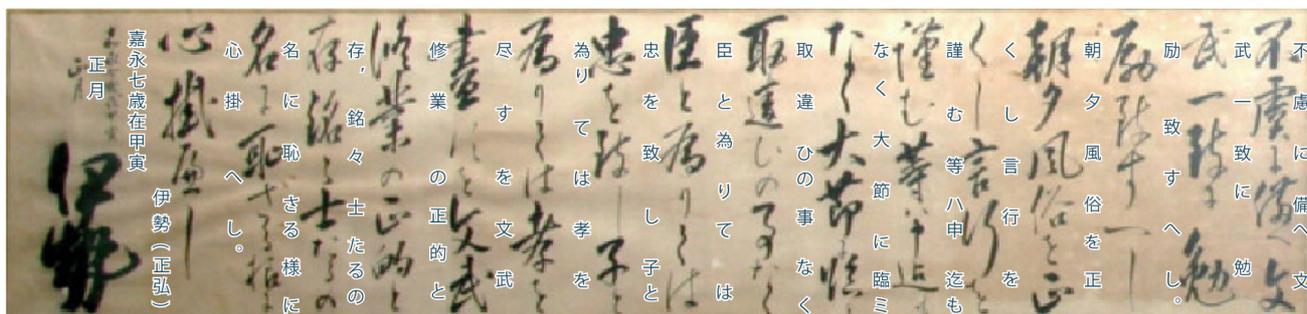
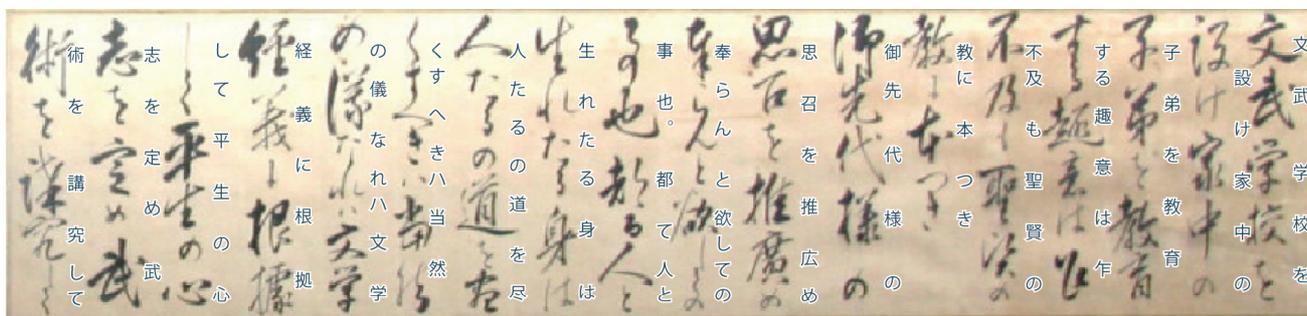
「弘道館」という藩校がありましたが、正弘は、新時代にふさわしい人材を育成するためには、新たな藩校が必要であると考えました。そこで、江戸の丸山藩邸と国元の福山藩にそれぞれ「誠之館」という藩校を新設しました。

広島県立福山誠之館高等学校の校門を入ると左手に「誠之館記念館」があります。これは、藩校「福山誠之館」の玄関を移したものです。江戸誠之館は1854(嘉永7)年に、福山誠之館は1855(安政2)年に開校しました。両方の開校式では、正弘直筆の「誠之館御諭書」が読みあげられました。



誠之館記念館
(福山誠之館同窓会提供)

藩校「誠之館」では、漢学・国学・洋学・医学・兵学・算術・習字・礼法などの諸科が設けられ、武術では、弓・槍・剣・馬術に加え、銃術・砲術などが完備されました。全藩士の8歳から17歳までの子弟全員に就学が義務づけられ、庶民であっても特別に入学が許可されることもありました。家柄・身分に関係なく、卒業試験の成績により役職や給与を決定する方法(「仕進法」)を採用しました。



《現代語訳》

- 学問や武術の学校を設立し家臣の教育を行うのは、聖人や賢人の教えにもとづいて先代(父・阿部正精)の方針を受け継ぎ、さらに推し進めたいと考えたからである。
- すべて人として生まれたのなら、人としての道理を尽くすことは当然であるので、文学や儒教の教えに基づいて、平生から心構えや志をしっかりと持ち、武術をきわめて、万が一に備え、文武両道に励みなさい。
- 朝夕、身なりや言動に慎むのは当然である。
- 重大な事件に際しては判断を誤ることないようにしなさい。
- 家臣であれば主君に忠義を尽くし、子であれば親に孝行を尽くすということを学問や武術修行の目的と考えて、それぞれが武士としての名に恥じぬように心がけなさい。

嘉永7年(1854)正月

阿部正弘

「誠之館御諭書」阿部正弘書(福山誠之館同窓会蔵)

阿部正弘はどのような人物だったのか、調べたことや考えたことをもとに自分の言葉でまとめてみましょう！



【もっと調べてみよう！郷土の歴史】

- 幕末の福山藩と広島藩の動きについて調べてみよう！
 - ・幕末の長州戦争に対して福山藩や広島藩はどのような動きをとったのでしょうか？
 - ・福山藩は廃藩置県の後、どのような県になったのでしょうか？
 - ・広島藩では廃藩置県によって、どのような騒動が起きたのでしょうか？
- 幕末に軈でおきたいろは丸事件について調べてみよう！
 - ・いろは丸事件とはどのような事件だったのでしょうか？
 - ・坂本竜馬はいろは丸事件でどのようなことを行ったのでしょうか？

坂本竜馬は軈でおきたいろは丸事件と関係していたの？

◇福山城博物館

住所：福山市丸之内1-8 TEL：084-922-2117 HP

◇広島県立歴史博物館

住所：福山市西町2-4-1 TEL：084-931-2513 HP



【もっと知りたい！郷土の歴史】

2度の長州出兵とひろしま ～廿日市町屋跡(廿日市市)～

幕末に長州藩は幕府と対立し、幕府は全国の大名に長州藩への出兵を要請しました(長州出兵)。1度目は1864(元治元)年で、西郷隆盛も幕府側の参謀として参加しています。この時は、実際に戦闘はありませんでしたが、西日本の諸藩から26000人ももの藩兵が集結しました。

2度目は1866(慶応2)年で、この時は幕府軍と長州軍で実際に戦闘がありました。山口県との県境付近で始まった戦争は、幕府軍が敗北し、長州軍が大竹から廿日市方面に攻め入ってきました。広島藩は、廿日市に放火して長州軍の侵入を食い止めました。その後、休戦となりましたが、実質は幕府側の敗北に終わりました。

広島町の町は幕府軍の拠点となり、多数の兵士や人夫が集まり、多くのお金や物資があふれました。商人には利益がありましたが、廿日市周辺の人々は戦火に巻き込まれ、広島藩内の農村では人夫を出したり、臨時の税が課せられたりして負担が重くのしかかりました。

近年、廿日市市街地で行われた発掘調査では、江戸時代末頃の焼けた地面や黒く焼け焦げた出土品が見つっています。これは、2度目の長州出兵の時のものと考えられています。



廿日市周辺の人々は長州戦争の戦火に巻き込まれたんだね。



廿日市町屋跡の焼けた地面
(広島県立埋蔵文化財センター提供
撮影：財団法人広島県教育事業団)

◇ 主な参考文献一覧 ◇

- 1 日本列島の誕生とひろしま ～帝釈峡遺跡群～
 - ・潮見 浩著『吉備考古ライブラリィ・3 帝釈峡遺跡群』吉備人出版, 1995年
 - ・河瀬正利著『中国山地の縄文文化 帝釈峡遺跡群』新泉社, 2007年
 - ・広島大学大学院文学研究科帝釈峡遺跡群発掘調査室『帝釈峡遺跡群 ―調査と研究40年―』2002年
- 2 大和政権とひろしま ～三ッ城古墳～
 - ・東広島教育委員会編『史跡三ッ城古墳 ―発掘調査と整備の記録―』1995年
 - ・広島県立歴史博物館編『広島・古代史発掘 ―安芸・備後の成立へ―』2010年
- 3 律令国家の成立とひろしま ～備後国府と安芸国分寺～
 - ・財団法人東広島市教育文化振興事業団編『史跡安芸国分寺跡 ―出土木簡とその概要―』2001年
 - ・広島県立歴史博物館編『広島・古代史発掘 ―安芸・備後の成立へ―』2010年
- 4 武士の成長とひろしま ～厳島神社と平清盛～
 - ・奈良国立博物館編『厳島神社国宝展 台風被災復興支援』読売新聞大阪本社, 2005年
 - ・中丸 満著『平清盛のすべてがわかる本』NHK出版, 2011年
 - ・岩田慎平著『乱世に挑戦した男 平清盛』新人物往来社, 2011年
- 5 中世民衆のくらしとひろしま ～草戸千軒町遺跡～
 - ・松下正司編『よみがえる中世8 埋もれた港町 草戸千軒・鞆・尾道』平凡社, 1994年
 - ・岩本正二著『吉備考古ライブラリィ・6 草戸千軒』吉備人出版, 2000年
 - ・鈴木康之著『中世瀬戸内の港町・草戸千軒町遺跡』新泉社, 2007年
- 6 戦国大名とひろしま ～毛利元就～
 - ・広島県教育委員会事務局管理部文化課中世遺跡調査班編『いびぎ ―中世のひろしま― NO 11～20 合併号』1998年
 - ・広島県立歴史博物館編『毛利氏 VS 天下人 ―瀬戸内の戦乱, そして平和―』2009年
 - ・河合正治編『毛利元就のすべて』新人物往来社, 1996年
- 7 幕藩体制とひろしま ～広島城と城下町～
 - ・広島市(広島市公文書館)編『図説 広島市史』1989年
 - ・広島県立歴史博物館編『ひろしまの城と戦 ―中世山城から近世城郭へ―』2011年
- 8 鎖国下の外交とひろしま ～朝鮮通信使～
 - ・辛基秀編『わが町にきた朝鮮通信使 I』明石書店, 1993年
 - ・柴村敬次郎著『ふるさと下蒲刈(その1)朝鮮通信使と蒲刈』下蒲刈町教育委員会, 1977年
 - ・福山市鞆の浦歴史民俗資料館編『特別展観 朝鮮通信使と福山藩港・鞆の津』1990年
 - ・福山市鞆の浦歴史民俗資料館編『朝鮮通信使と文化的影響と日本人の文雅』2011年

9 江戸時代の文化とひろしま ～菅茶山と頼山陽～

- ・菅茶山関係書籍発刊委員会編『菅茶山の世界』文芸社，2009年
- ・財団法人福山市かなべ文化振興会菅茶山記念館編『菅茶山 ～その生涯と交友』2008年
- ・財団法人頼山陽記念文化財団編『頼山陽の生涯』2010年
- ・頼惟勤著『頼山陽「日本の名著28」』中央公論社，1972年

10 江戸幕府の衰退とひろしま ～阿部正弘～

- ・広島県立歴史博物館編『阿部正弘と日米和親条約』2004年
- ・広島県立歴史博物館編『福山藩の教育と文化 ―江戸時代後期を中心に―』1994年
- ・新人物往来社編『阿部正弘のすべて』1997年

◇広島県の歴史全般について

- ・岸田裕之編『広島県の歴史』山川出版社，1999年
- ・広島県の歴史散歩編集委員会編『広島県の歴史散歩』山川出版社，2009年
- ・荒川正己他著『図説 広島市の歴史』郷土出版社，2001年
- ・浅尾哲三他著『図説 廿日市・大竹・厳島の歴史』郷土出版社，2001年
- ・井出博之他著『図説 福山・府中の歴史』郷土出版社，2001年
- ・朝井柁善他著『図説 尾道・三原・因島の歴史』郷土出版社，2001年
- ・有川義晴他著『図説 東広島・竹原・呉の歴史』郷土出版社，2001年
- ・赤迫敬三他著『図説 備後・安芸吉田の歴史』郷土出版社，2001年
- ・山本博文監修『あなたの知らない広島県の歴史』洋泉社，2012年
- ・松井輝昭・池田明子編著『広島県 謎解き散歩』新人物往来社，2011年

◇ 協力機関・協力者一覧 ◇

安芸高田市教育委員会／厳島神社／菅茶山記念館／北広島町教育委員会／サンフレッチェ広島事務局／東京大学駒場図書館／鍋島報効会／東広島市教育委員会／広島県教育事業団／広島県立歴史博物館／広島県立歴史民俗資料館／広島市中区役所区政振興課／広島市未来都市創造財団／広島大学大学院文学研究科帝釈峡遺跡群発掘調査室／福山市鞆の浦歴史民俗資料館／福山誠之館同窓会／藤井寺市教育委員会／府中市教育委員会／三原市教育委員会／宮島観光協会／毛利博物館／山口県文書館／陽明文庫／頼山陽史跡資料館／蘭島文化振興財団／篠原祐一／新谷孝一／菅波眞吾／細谷紗桜
(50音順，敬称略)

◇ 主な歴史博物館・資料館一覧 ◇

市町	博物館・資料館等の名称	住所	連絡先
広島市	広島平和記念資料館	広島市中区中島町 1-2	082-241-4004
	国立広島原爆死没者追悼平和祈念館	広島市中区中島町 1-6	082-543-6271
	広島市郷土資料館	広島市南区宇品御幸 2-6-20	082-253-6771
	頼山陽史跡資料館	広島市中区袋町 5-15	082-542-7022
	広島城	広島市中区基町 21-1	082-221-7512
	広島県立文書館	広島市中区千田町 3-7-47	082-245-8444
	広島県立美術館	広島市中区上織町 2-22	082-221-6246
福山市	広島県立歴史博物館	福山市西町 2-4-1	084-931-2513
	福山城博物館	福山市丸之内 1-8	084-922-2117
	福山市鞆の浦歴史民俗資料館	福山市鞆町後地 536-1	084-982-1121
	福山市人権平和資料館	福山市丸之内 1-1-1	084-924-6789
	福山市しんいち歴史民俗博物館	福山市新市町大字新市 916	0847-52-2992
	菅茶山記念館	福山市神辺町大字新湯野 30-2	084-963-1885
	福山市神辺歴史民俗資料館	福山市神辺町大字川北 6-1	084-963-2361
	福山市田尻民俗資料館	福山市田尻町 1945-2	084-956-0219
	福山市山野民俗資料館	福山市山野町山野 3782	—
	国際聚蔵館	福山市元町 7-2	084-926-9315
	日本はきもの博物館	福山市松永町 4-16-27	084-934-6644
	日本郷土玩具博物館	福山市松永町 4-16-27	084-934-6644
	福山自動車時計博物館	福山市北吉津町 3-1-22	084-922-8188
	弥勒之里美術館	福山市沼隈町上山南黒瀬西 70	084-988-1234
呉市	呉市海事歴史科学館（大和ミュージアム）	呉市宝町 5-20	0823-25-3017
	呉市入船山記念館	呉市幸町 4-6	0823-21-1037
	長門の造船歴史館	呉市倉橋町 171-7	0823-53-0016
	倉橋歴史民俗資料館	呉市倉橋町 440	0823-53-2010
	安浦歴史民俗資料館	呉市安浦町内海南 2-13-10	0823-84-6421
竹原市	竹原市歴史民俗資料館	竹原市本町 3-11-16	0846-22-5186
	松阪邸	竹原市本町 3-9-22	0846-22-5474
	森川邸	竹原市中央 3-16-33	0846-22-8118
	町並み保存センター	竹原市本町 3-11-7	0846-22-1473
東広島市	東広島市三永歴史民俗資料館	東広島市西条町下三永 930	082-420-0977
	東広島市八本松歴史民俗資料館	東広島市八本松南 2-1-2	082-428-5713
	東広島市安芸津歴史民俗資料館	東広島市安芸津町三津 4398	0846-45-2334
	東広島市立中央図書館内三ツ城古墳ガイダンスコーナー	東広島市西条中央 7-25-11	082-424-9449
	東広島市出土文化財管理センター	東広島市河内町中河内 651-7	082-420-0977
	東広島市立美術館	東広島市八本松南 2-1-3	082-428-5713
廿日市市	廿日市市宮島歴史民俗資料館	廿日市市宮島町 57	0829-44-2019
	佐伯歴史民俗資料館	廿日市市玖島 4368	—
	吉和歴史民俗資料館	廿日市市吉和 3523-1	—
府中町	府中町歴史民俗資料館	安芸郡府中町本町 2-14-1	082-286-3260
海田町	海田町ふるさと館	安芸郡海田町畝 2-10-20	082-823-8396
熊野町	熊野町郷土館	安芸郡熊野町中溝 3-12-26	082-855-2559
	筆の里工房	安芸郡熊野町中溝 5-17-1	082-855-3010

市町	博物館・資料館等の名称	住所	連絡先
大崎上島町	大崎郷土資料館	豊田郡大崎上島町中野 2067-5	0846-64-3055
	木江ふれあい郷土資料館	豊田郡大崎上島町沖浦 1911	0846-62-0005
	海と島の歴史博物館・大望月邸	豊田郡大崎上島町東野 2721-1	0846-67-3229
安芸高田市	安芸高田市歴史民俗博物館	安芸高田市吉田町吉田 278-1	0826-42-0070
北広島町	芸北歴史民俗博物館	山県郡北広島町西八幡原 867	0826-37-0048
	大朝郷土資料館	山県郡北広島町新庄 1031-1	0824-82-3775
	芸北民俗芸能保存伝承館	山県郡北広島町有田 1234	050-5812-5088
	千代田歴史民俗資料館	山県郡北広島町古保利 226	0826-72-5040
	どんぐり資料館	山県郡北広島町都志見 2609	0826-84-1313
	戦国の庭歴史館	山県郡北広島町海心寺 255-1	0826-83-1785
三原市	三原市歴史民俗資料館	三原市丹一町 2-3-2	0848-62-5595
	久井歴史民俗資料館	三原市久井町江木 43-1	0847-32-6883
尾道市	尾道市立美術館	尾道市西土堂町 17-19	0848-23-2281
	おのみち歴史博物館	尾道市久保 1-14-1	0848-37-6555
	尾道市御調歴史民俗資料館	尾道市御調町丸河南 86-1	0848-25-7367
	尾道市向島郷土文化保存伝習施設	尾道市向島町立花 2200	0848-45-2319
	尾道市因島史料館	尾道市因島中庄町 3222-2	0845-24-0887
	尾道市瀬戸田歴史民俗資料館	尾道市瀬戸田町瀬戸田 254-2	0848-25-7367
府中市	府中市歴史民俗資料館	府中市土生町 882-2	0847-43-4646
	府中市上下歴史文化資料館	府中市上下町上下 1006	0847-62-3999
	府中市河面谷民俗資料館	府中市河面町 977	0847-43-4663
世羅町	世羅町世羅郷土民俗資料館	世羅郡世羅町大字賀茂 3132-2	0847-22-4411
	世羅町せらにし郷土民俗資料館	世羅郡世羅町大字黒川 455	0847-22-4411
	世羅町大田庄歴史館	世羅郡世羅町大字甲山 159	0847-22-4646
神石高原町	神石高原町立神石民俗資料館	神石郡神石高原町永野 37-13	0847-86-0151
三次市	広島県立みよし風土記の丘・広島県立歴史民俗資料館	三次市小田幸町 122	0824-66-2881
	三次市歴史民俗資料館	三次市三次町 1236	0824-64-3517
	吉舎町歴史民俗資料館	三次市吉舎町吉舎 545-1	0824-43-2331
	三和郷土資料館	三次市三和町敷名 1496	—
	三良坂民俗資料館	三次市三良坂町灰塚 8-2	—
庄原市	庄原市歴史民俗資料館	庄原市西本町 2-20-10	0824-72-1159
	庄原市西城歴史民俗資料館	庄原市西城町大佐 739-1	0824-82-2445
	庄原市宮田武義記念館	庄原市西城町大佐 739-1	0824-82-2445
	時悠館	庄原市東城町帝釈未渡 1909	08477-6-0161
	庄原市口和郷土資料館	庄原市口和町永田 9	0824-87-2230
	庄原市比和郷土文化保存伝習施設	庄原市比和町比和 1119-1	0824-85-3005
	庄原市立比和自然科学博物館	庄原市比和町比和 1119-1	0824-85-3005
	庄原市総領郷土資料館	庄原市総領町下総領 278	0824-88-3067

【参考】広島県歴史民俗資料館等連絡協議会「平成24年度広島県歴史民俗資料館等職員ならびに県内文化財担当者一覧」

◇「郷土ひろしまの歴史」検討委員

村上 悦雄（広島県教育委員会事務局教育部長）
棚橋 健治（広島大学大学院教育学研究科長・教育学部長）
桑原 隆博（広島県教育委員会事務局管理部文化財課長）
植田千佳穂（広島県立歴史民俗資料館長）
和田 吉弘（広島市立大塚中学校長）
河田 敦之（広島県立広島国泰寺高等学校長）

◇「郷土ひろしまの歴史」作成委員

上戸田光史（呉市立安浦中学校 教諭） 北村 一（竹原市立吉名中学校 教諭）
朝倉 仁美（東広島市立河内中学校 教諭） 藤山 英人（江田島市立江田島中学校 教諭）
川上 貴志（北広島町立大朝中学校 教諭） 井上 淳（尾道市立向東中学校 教諭）
向井 昌行（三原市立第二中学校 教諭） 竹村 泰則（三次市立三次中学校 教諭）
小野 大助（福山市立東中学校 教諭） 柳澤 理子（広島市立早稲田中学校 教諭）
徳本 光哉（広島県西部教育事務所 指導主事）
吉川 孝志（広島県西部教育事務所芸北支所 指導主事）
神原 芳則（広島県東部教育事務所 指導主事）
阿部由貴子（広島県教育委員会事務局教育部高校教育指導課 指導主事）
高林 賢治（広島県立教育センター教科教育部 指導主事）
花本 哲志（広島県教育委員会事務局管理部文化財課 指導主事）
久下 実（広島県立歴史博物館 主任学芸員）
田邊 英男（広島県立歴史民俗資料館 主任学芸員）

◇「郷土ひろしまの歴史」事務局

広島県教育委員会事務局教育部義務教育指導課

（所属・役職は、平成25年3月現在）

発行 広島県教育委員会
〒730-8514
広島県広島市中区基町 9 番 42 号
電話 082-513-4976
F A X 082-222-1468